

2026年2月期第3四半期
(2025年3月1日～2025年11月30日)

決算説明資料

2026年1月14日
東宝株式会社
証券コード:9602

目次

<u>1. エグゼクティブサマリー</u>	<u>p.2</u>
<u>2. 2026年2月期第3四半期累計業績</u>	<u>p.9</u>
<u>3. 業績見通し／株主還元</u>	<u>p.26</u>
<u>Appendix 1 ラインナップ</u>	<u>p.30</u>
<u>Appendix 2 業績</u>	<u>p.39</u>
<u>Appendix 3 事業</u>	<u>p.50</u>
<u>Appendix 4 コーポレート</u>	<u>p.75</u>

1 —— エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

2026年2月期 第3四半期累計業績

- 3Q累計期間の営業収入と各段階利益は歴代最高
- 営業収入2,813億円(yoy+20.2%)、営業利益600億円(yoy+13.8%):「鬼滅の刃」「国宝」「チェンソーマン レゼ篇」「8番出口」等のヒットにより映画事業が好調
- 親会社株主に帰属する四半期純利益465億円(yoy+36.5%):2Qの政策保有株式売却もあり大幅増益

2026年2月期 通期業績予想

- 3Q累計利益は大幅に上振れて進捗も、4Qの映画事業等が弱含み見通しのため、前回公表値を据え置き
- 期末配当金を20円増額:中期経営計画2028の配当方針に基づき年間配当金は85円→105円に

トピックス

- 株式分割(1:5)と株主優待制度の変更を決定 >[p.4参照](#)
- 新作「ゴジラ-0.0」を今年11/3に劇場公開予定、北米もGKIDSより11/6に公開予定 >[p.5参照](#)
- 2025年の国内配給作品の興行収入は歴代最高。来期も豊富なラインナップ >[p.6参照](#)
- 欧州地域へのIP展開に向けた欧州統括会社を設立 >[p.7参照](#)
- 顧客基盤プラットフォーム「TOHO-ONE」を2026年3月にローンチ予定 >[p.8参照](#)

株式分割(1:5)と株主優待制度の変更、期末配当予想の修正

投資単位当たりの金額を引き下げるとともに優待制度を変更し、より幅広い投資家層の参加を促す

■株式分割

普通株式1株につき 5 分割	基 準 日 :2026年2月28日(土) 効力発生日:2026年3月1日(日)
--------------------------	--

■株主優待制度変更のポイント(一部抜粋)



贈呈時期の変更

年2回(2月末・8月末基準)
から**年1回(8月末基準)**へ



保有株式数の区分変更

株式分割(1:5)に合わせて、優待を受けられる**株式数の区分を見直し**



有効期間変更

映画ご招待券の有効期限を**1年間**(1月～12月)に

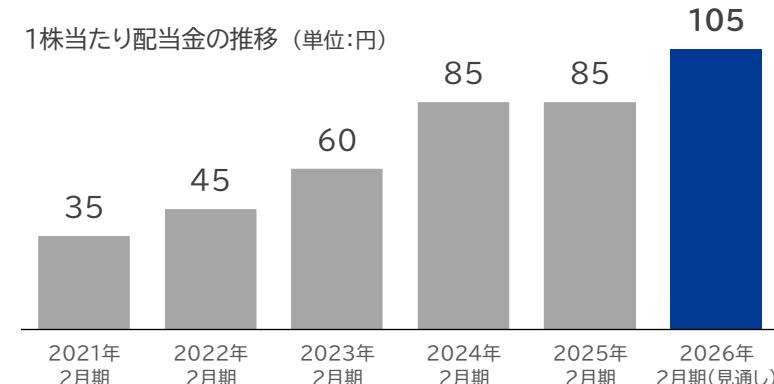
期末配当を20円増額し、年間配当金は105円に

■配当予想

前期実績
85円

当期見通し
105円

1株当たり配当金の推移 (単位:円)



※詳細は、1/14開示の「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更ならびに株主優待制度の変更に関するお知らせ」ご参照

※詳細は、1/14開示の「期末配当予想の修正に関するお知らせ」ご参照

「ゴジラ-0.0」を今年11/3に劇場公開予定、北米でも11/6に公開予定



- ・山崎貴(監督・脚本・VFX)ゴジラ最新作
- 「ゴジラ-0.0」が**2026年11月3日(火・祝)**に公開決定
- ・北米でも同年11月6日(金)より自社グループ配給(GKIDS)で公開予定
- ・日米同時期の公開は、日本製作のゴジラシリーズの長い歴史上でも初。その他の地域での公開日も順次決定予定

作品概要

- ・タイトル:「ゴジラ-0.0」(ゴジラマイナスゼロ)
- ・監督・脚本・VFX:山崎貴
- ・製作:東宝(株)
- ・制作プロダクション:TOHOスタジオ ROBOT
- ・VFX:白組

公式HP:<https://godzilla-minuszero.toho-movie.jp/>

国内配給作品の興行収入:2025年は歴代最高。来期も豊富なラインナップ

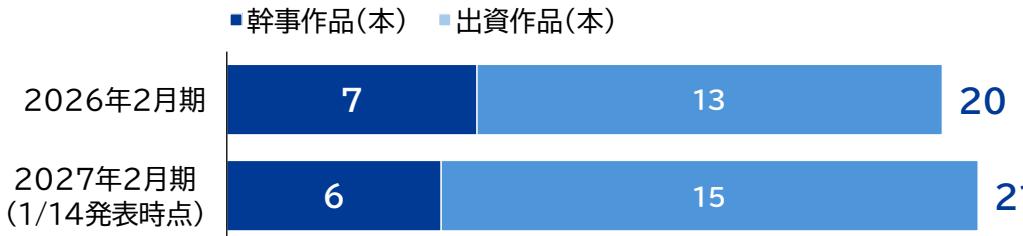
※東宝の映画営業部及び東宝東和/東和ピクチャーズが配給した作品の興行収入

2025年の国内配給作品実績

- ・東宝グループ国内年間興行収入**1,605億円**。2023年の同1,055億円を超える歴年で過去最高を記録
- ✓ 興行収入100億円超作品:合計**4**作品
劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猪窓座再来、国宝、劇場版「名探偵コナン 隻眼の残像」、劇場版「チェンソーマン レゼ篇」
- ✓ 興行収入50億超作品:合計**3**作品
劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッション」、8番出口、ミッション:インポッシブル／ファイナル・レコニング

2026年の国内配給作品の見通し

- ・来期(2027年2月期)も、**豊富な映画のラインナップ**を予定



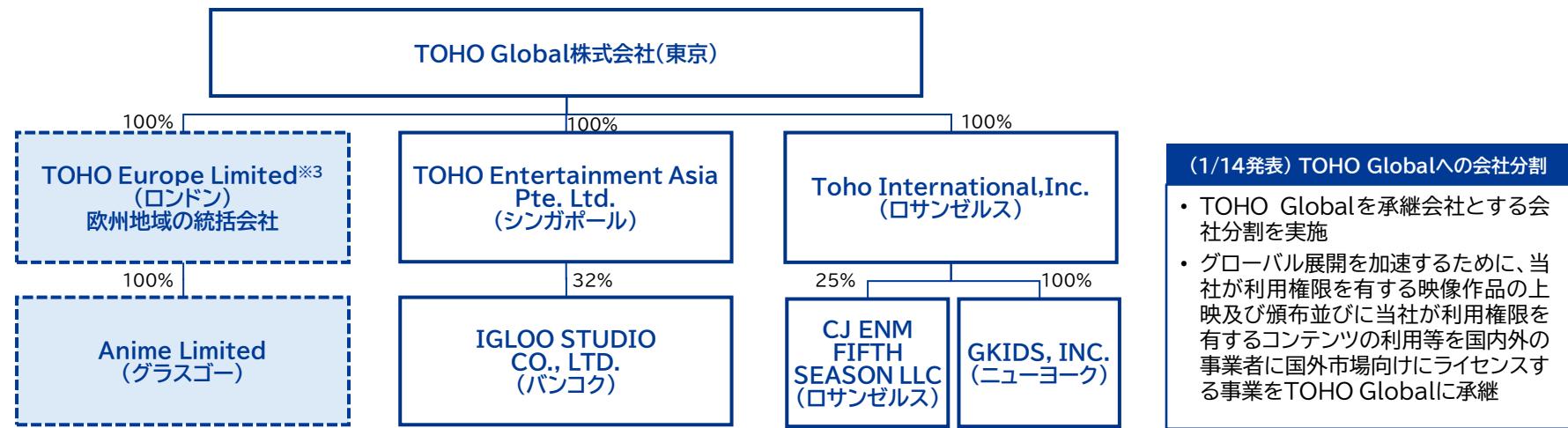
来期も「ゴジラ-0.0」(11月公開予定)、劇場版「薬屋のひとりごと」(12月公開予定)といった国内外で公開予定の幹事作品が控えており、業績の積み増しに期待

※東宝グループ国内年間興行収入の詳細はp.52、作品ラインナップはp.31-35を参照

欧州地域へのIP展開に向けた欧州統括会社を設立

- ・欧州戦略の中核拠点として英国に欧州統括会社を設立。同欧州統括会社の子会社として、Anime Limited^{※1}の全株式をPLAION PICTURES^{※2}から取得
- ・TOHO GlobalとPLAION PICTURESは欧州における戦略的提携を締結
- ・アニメと一部実写IPの劇場配給、TV配信、パッケージ、マーチャンダイジング、ゲームを視野に入れた欧州展開を本格化

当社における海外の主なグループ会社



※1 英国・フランスを中心に、アニメ作品の劇場配給、パッケージ、配信等を手がけるアニメの専門企業

※2 PLAION PICTURES GmbH. 欧州を代表する独立系配給会社

※3 TOHO THEATRICALS UK LIMITED. から社名変更

TOHO-ONEを2026年3月にローンチ予定

2026年3月、国内サービスローンチ予定

- 「顧客基盤プラットフォーム」：分断されていたデータを統合し、IPを軸としたシームレスな体験を実現
- 「劇場」というリアル接点の活用：体験価値をTOHO-ONEで拡張
- 将来の「オープンプラットフォーム化」：IPホルダーや配給会社等へTOHO-ONEを開放。サービスの拡張やコンテンツの共創を目指す

会員数：現在400万人→2032年1,000万人

- TOHOシネマズの「シネマイレージ」会員※、東宝演劇の会員、各種ECサイト等の個別保有の会員組織を統合

3つのプランと利用金額に応じたポイント還元

- 映画チケットとの交換、座席アップグレード、グッズ
- 「TOHOスタジオツアー」招待など、当社ならではのリアル体験が可能

詳細は<https://www.toho.co.jp/toho-one>をご参照ください

※1/14発表：TOHOシネマズが運営する映画館の会員カード「シネマイレージカード」にかかる事業を分割し、当社へ承継させる会社分割を決議



プラン	プレミアム	スタンダード	ライト
年会費	3,000円	500円	無料
ポイント付与率	2%	2%	1%
ポイント支払い	○	○	○
ポイントリワード(交換) (例：映画鑑賞券)	○	○	—
映画特典 (例：割引料金での映画鑑賞)	○	○	—
演劇特典 (例：先行抽選、貸切公演)	○	—	—
オンラインストア特典 (例：先行販売など)	○	—	—
日比谷シャンテ特典	○	○	—

※一人一アカウント制を採用し、メールやSMS認証を導入することで、本人確認とセキュリティの強化を図り、不正購入を抑止し、転売対策を強化する予定。

2 —— 2026年2月期第3四半期累計業績

連結業績ハイライト(3Q累計)

「鬼滅の刃」「国宝」「チェンソーマン レゼ篇」「8番出口」等のヒットに伴い、映画事業が好調に推移し、增收増益

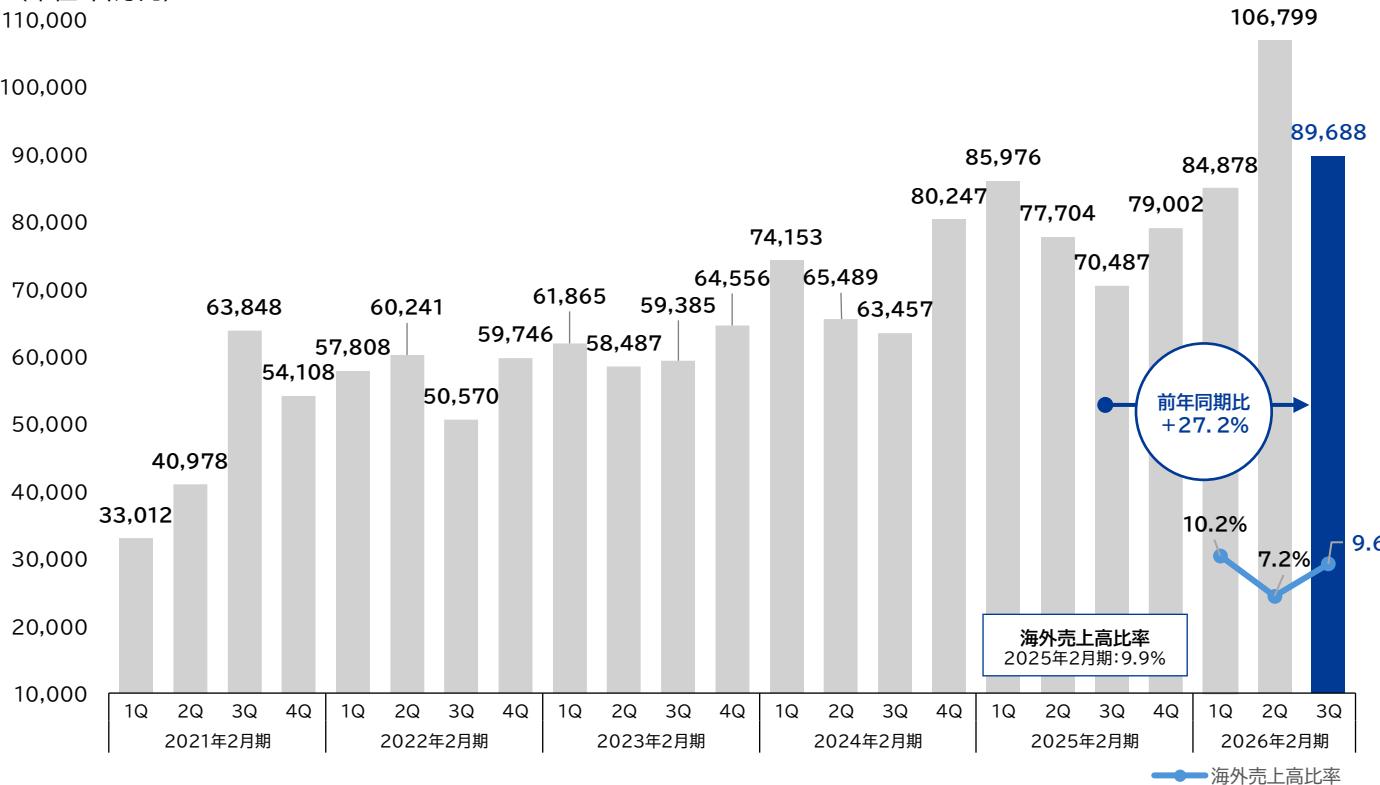
	2025年2月期 3Q累計	2026年2月期 3Q累計	増減	(単位:百万円) 増減率
営業収入	234,169	281,366	47,197	20.2%
営業利益	52,801	60,092	7,291	13.8%
経常利益	51,552	60,880	9,328	18.1%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	34,141	46,587	12,446	36.5%

セグメント別業績一覧(3Q累計)

		2025年2月期 3Q累計	2026年2月期 3Q累計	増減	増減要因(営業収入)	増減要因(営業利益)
 映画事業	営業収入	106,590	148,566	+41,976	・「鬼滅の刃」「国宝」「チェンソーマン レゼ篇」「8番出口」等のヒットにより増収	・増収に伴い増益
	営業利益	22,991	33,800	+10,809		
	営業利益率	21.6%	22.8%	+1.2ポイント		
 IP・アニメ事業	営業収入	51,649	55,792	+4,143	・サイエンスSARUやGKIDSが貢献	・のれんの償却額の増加やパッケージ・商品物販等の減少に伴い減益
	営業利益	18,436	15,189	△3,246	・「ゴジラ」の商品化権利用の伸長により増収	
	営業利益率	35.7%	27.2%	△8.5ポイント		
 演劇事業	営業収入	16,247	17,352	+1,104	・帝国劇場の休館中も主催公演の回数確保に努めたことや、開催した演劇が大入りだったことにより増収	・1Qに借館料等の公演に係る費用等の増加があったものの、増収による収益の底上げにより増益
	営業利益	2,534	2,573	+39		
	営業利益率	15.6%	14.8%	△0.8ポイント		
 不動産事業	営業収入	58,660	58,676	+16	・不動産保守・管理事業において、新規案件を受注したこと等から増収	・大規模補修繕費の減少等により増益
	営業利益	13,281	14,730	+1,448		
	営業利益率	22.6%	25.1%	+2.5ポイント		
 その他事業	営業収入	1,020	976	△43		
	営業利益	176	129	△46	—	—
	営業利益率	17.3%	13.3%	△4.0ポイント		
調整額	営業利益	△4,618	△6,331	△1,712	—	—

営業収入推移(四半期)

(単位:百万円)



各四半期の主な要因

2026年2月期3Q

- 「チェンソーマン レゼ篇」「鬼滅の刃」等のヒットにより、映画営業事業と映画興行事業が好調に推進

2026年2月期2Q

- 「鬼滅の刃」「国宝」のヒットにより、映画営業事業と映画興行事業が大きく伸長

2026年2月期1Q

- 「ゴジラ」の商品化権や「藁屋のひとりごと」「僕のヒーローアカデミア」等の配信権収入が貢献

2025年2月期4Q

- GKIDSのグループイン(24年10月)による貢献開始

2025年2月期3Q

- キャラクターライセンス(呪術廻戦等)が好調
- サイエンスSARUのグループイン(24年5月)による貢献開始

2025年2月期2Q

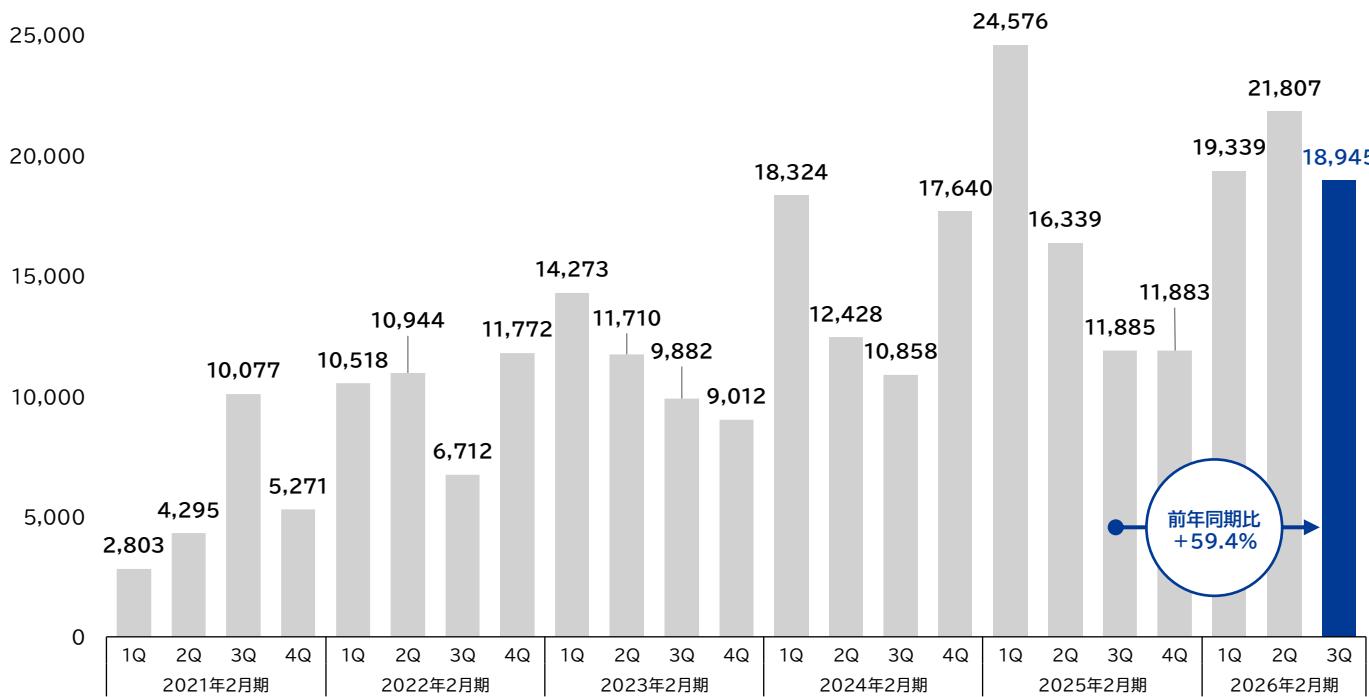
- 「ゴジラ-1.0」の配信権収入(海外)が貢献
- 商品販売(ハイキュー!!等)やキャラクターライセンス(呪術廻戦等)が好調
- 帝国劇場クロージングラインナップが好調(25/2期4Qにかけて貢献)

2025年2月期1Q

- 「劇場版ハイキュー!!」「変な家」がヒット
- 「ゴジラ-1.0」の配信権収入(国内)やビデオグラムの販売が好調
- 東京楽天地のグループイン(24年2月)による貢献開始

営業利益推移(四半期)

(単位:百万円)



各四半期の主な要因

2026年2月期3Q

- 「8番出口」「チェンソーマン レゼ篇」等のヒットが映画営業事業と映画興行事業に貢献

2026年2月期2Q

- 「鬼滅の刃」「国宝」のヒットにより、映画営業事業と映画興行事業が大きく伸長

2026年2月期1Q

- 「ゴジラ」の商品化権や「茶屋のひとりごと」「僕のヒーローアカデミア」等の配信権収入が貢献

2025年2月期4Q

- 帝劇ビルの解体工事にかかる一時的な費用を計上
- GKIDSのグループイン(24年10月)により、のれん/無形資産の償却開始

2025年2月期3Q

- キャラクターライセンス(呪術廻戦等)が貢献
- サイエンスSARUのグループイン(24年5月)により、のれん/無形資産の償却開始

2025年2月期2Q

- 「ゴジラ-1.0」の配信権収入(海外)が貢献
- 商品物販(ハイキュー!!等)やキャラクターライセンス(呪術廻戦等)が好調
- 帝国劇場クロージングラインナップが好調(25/2期4Qも継続)

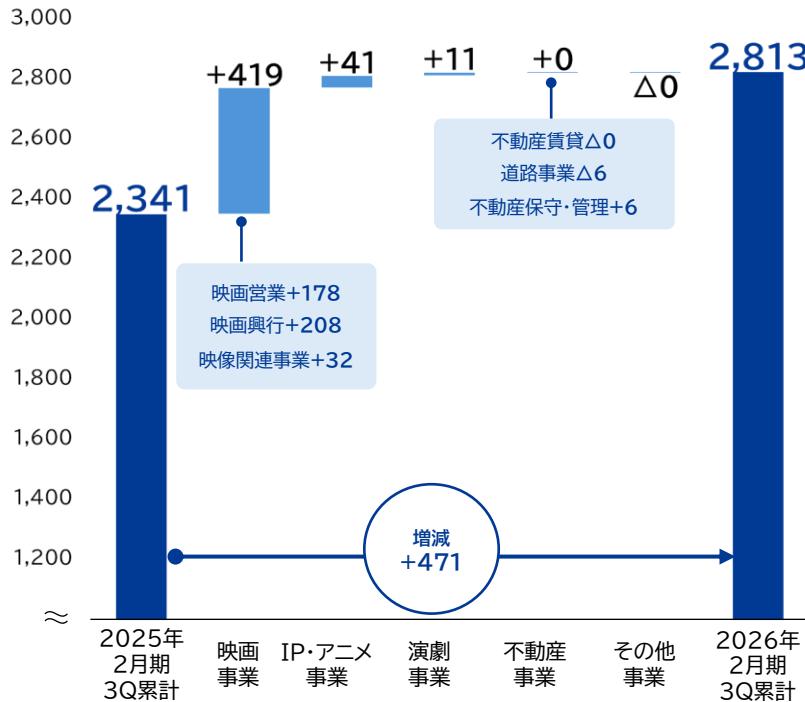
2025年2月期1Q

- 「劇場版ハイキュー!!」「変な家」がヒット
- 「ゴジラ-1.0」の配信権収入(国内)やビデオグラムの販売が好調
- 25/2期1Qに大規模修繕費が発生

営業収入・営業利益の増減(3Q累計)

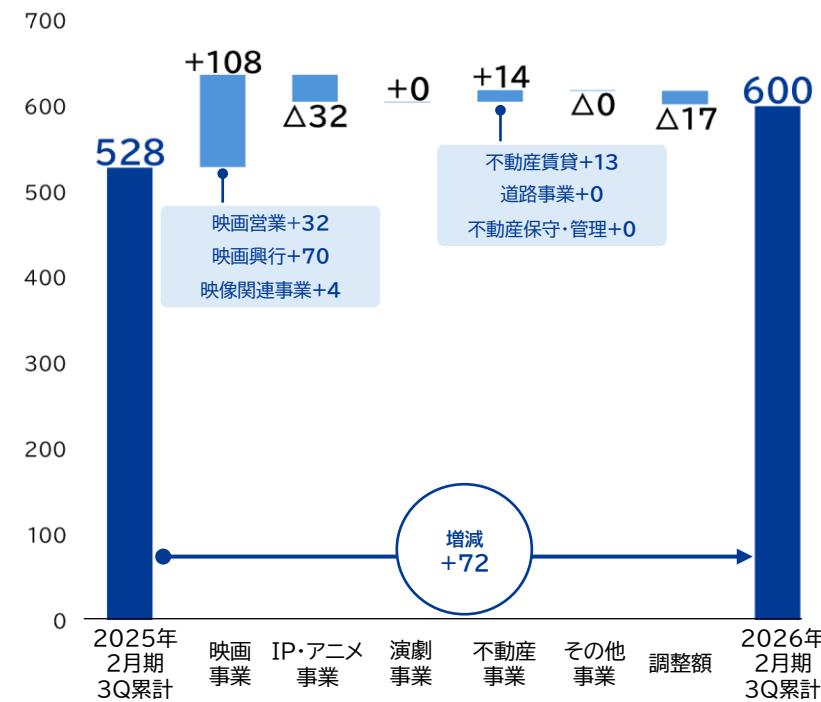
営業収入

(単位:億円)



営業利益

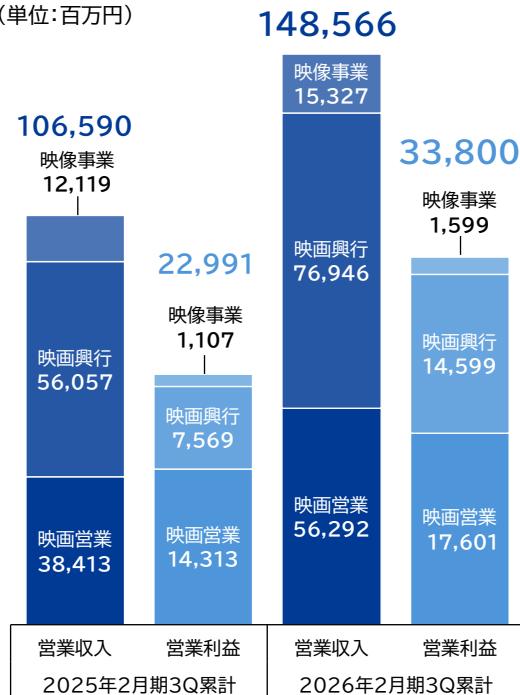
(単位:億円)



映画事業セグメントの業績(3Q累計)

「鬼滅の刃」「国宝」「チェンソーマン レゼ篇」「8番出口」等のヒットにより映画事業が好調に推移し、前年同期と比べ増収増益

(単位:百万円)



	2025年2月期				2026年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
映画営業	営業収入	17,673	13,311	7,427		12,992	25,784	17,515
	営業利益	8,416	4,491	1,405		4,185	7,145	6,270
映画興行	営業収入	21,372	19,754	14,930	19,576	22,143	31,707	23,095
	営業利益	3,805	3,054	709	2,202	3,972	6,749	3,877
映画関連	営業収入	3,892	3,604	4,623		5,138	5,942	4,246
	営業利益	617	60	429		888	252	458
参考	配給収入(東宝等の配給作品)	13,951	8,351	4,822		10,638	23,260	15,089
	映像の利用・許諾	3,441	4,581	2,242		2,063	2,016	2,096
	興行収入(TOHOシネマズ等)	17,077	15,601	11,991	15,457	17,627	25,503	18,392
	映画館入場者数(千人)	11,220	10,223	7,163	9,793	10,969	16,401	11,574

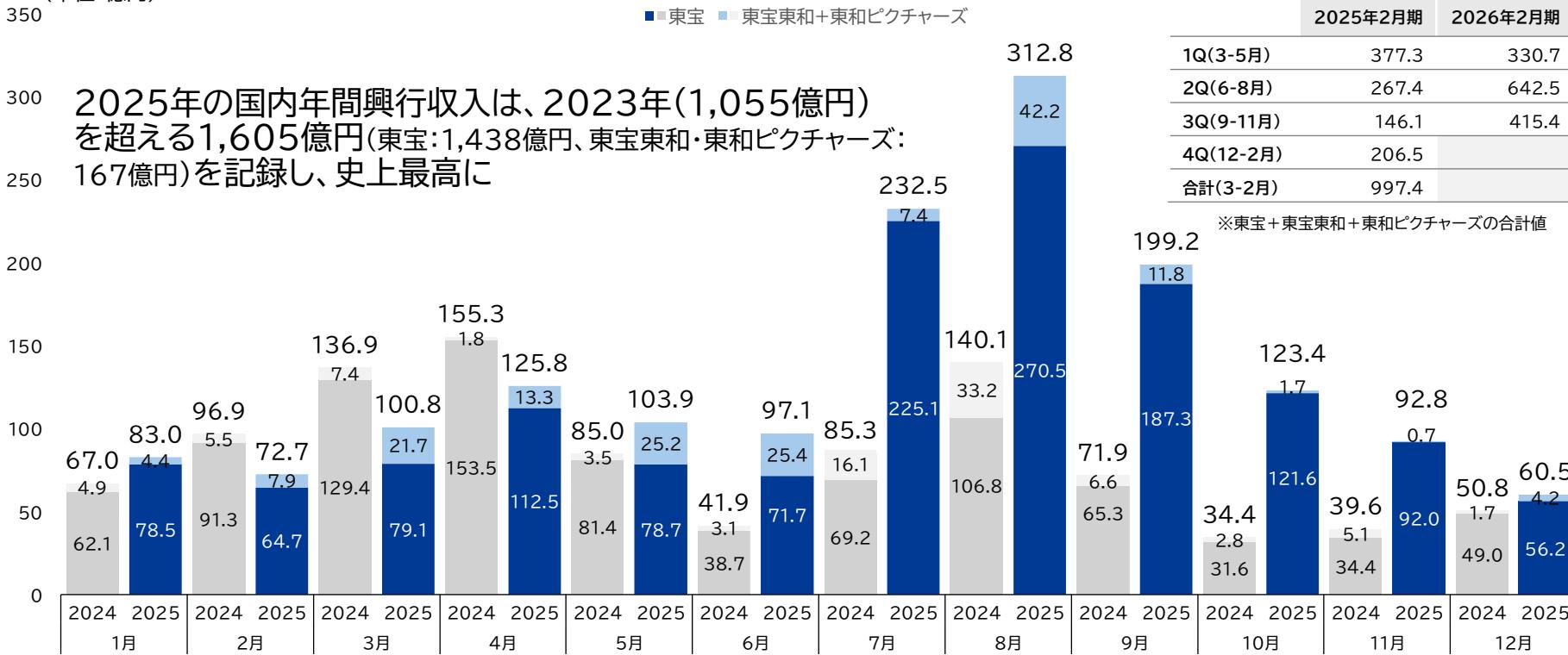
業績分析(増減要因)

- 映画営業** YoY 前年同期に「ゴジラ-1.0」の配信権収入が剥落があったものの、「鬼滅の刃」「国宝」「チェンソーマン レゼ篇」「8番出口」等のヒットにより、増収増益
- 映画興行** YoY 当社配給作品等の高稼働によるチケット収入の増加に加え、コンセッション(飲食)等が伸長した結果、大幅に増収増益
- 映画関連** YoY 映画やTV・ライブイベント等での舞台製作・美術製作やテーマパークにおける展示物の製作業務、メンテナンス業務等を受注し、増収増益

東宝グループ国内配給作品の興行収入推移

※東宝の映画営業部及び東宝東和/東和ピクチャーズが配給した作品の興行収入

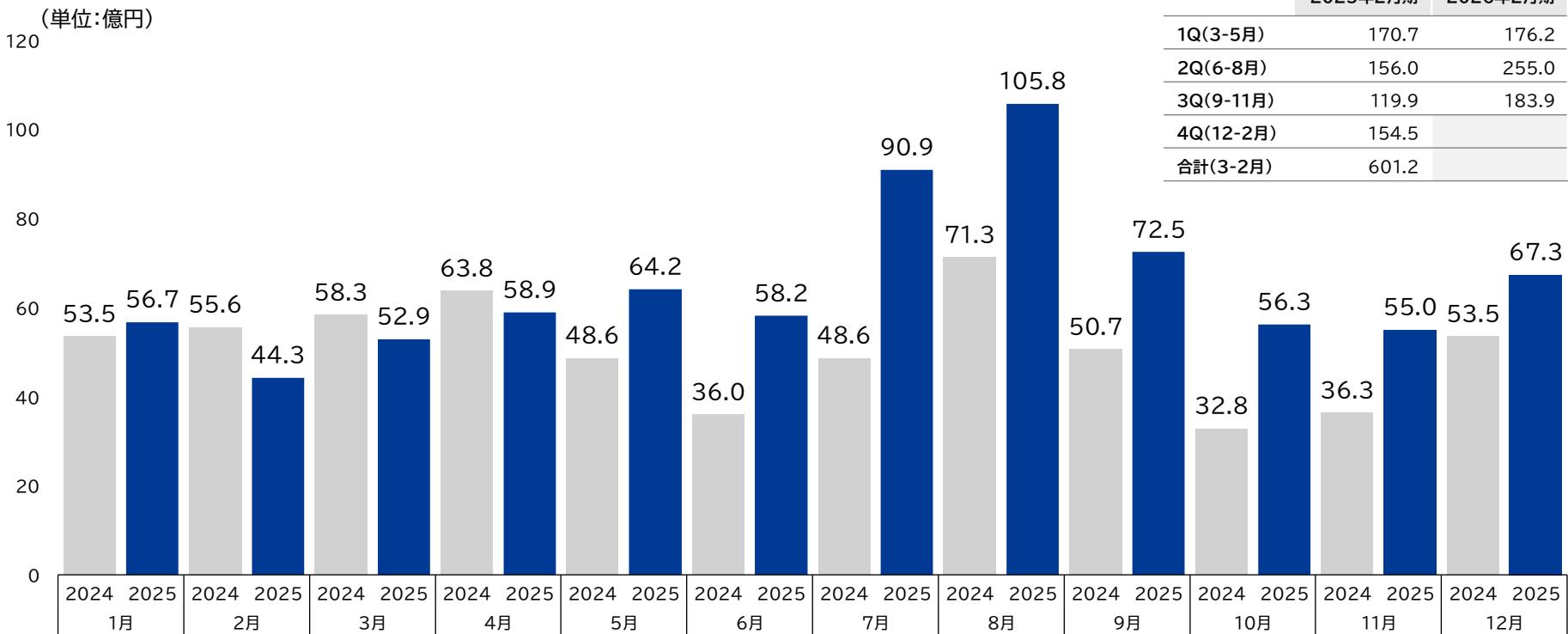
(単位:億円)



※ 2025年2月期より実写やアニメ、音楽、ステージ等の配給を行うレベル「TOHO NEXT」作品を含む

東宝グループ映画興行部門の興行収入推移

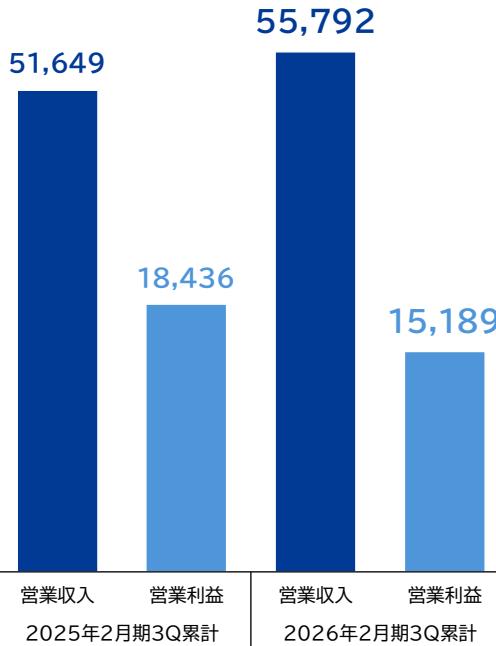
※東宝グループ映画興行部門の興行収入(TOHOシネマズ等で上映されたすべての作品の興行収入)



IP・アニメ事業セグメントの業績(3Q累計)

サイエンスSARU、GKIDSの貢献や配信権収入の増加等により前年同期と比べ増収となったが、のれんの償却額の増加やパッケージ・商品物販等の減少等に伴い減益

(単位:百万円)



	2025年2月期				2026年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
IP・アニメ	営業収入	17,063	17,181	17,404	18,999	18,314	18,478	
	営業利益	7,289	6,000	5,145	6,335	4,363	4,490	
	営業利益率	42.7%	34.9%	29.6%	33.3%	23.8%	24.3%	
分解情報	映像の利用・許諾	① 7,232	5,857	6,818	④ 9,065	6,584	9,172	
	商品化権の利用・許諾	2,933	3,445	4,330	⑤ 4,286	3,805	3,643	
	商品の販売	② 5,943	6,374	5,058	⑥ 3,973	5,673	4,269	

①・ゴジラ-1.0の海外劇場配給(※主に1Q) (+)
 ・TOHO animation作品の劇場版ヒットに伴う製作出資収入の増加(+)

②・パッケージ、TOHO animation作品物販好調 (+)

③・のれん・無形資産の償却開始 (-)
 ・販管費の増加(海外子会社の連結、成長投資) (-)

④・TOHO animation作品の配信権利用伸長(※主に1Q及び3Q) (+)
 ・GKIDSの営業収入貢献(+)

⑤・ゴジラの海外の商品化権収入 (+)

⑥・劇場/パンフ/グッズ販売好調、カードゲーム等 (+)

業績分析(増減要因)

サイエンスSARU、GKIDSの貢献に加え、「薬屋のひとりごと」「SPY×FAMILY」「Dr.STONE」等のTOHO animation作品の国内外の配信権利用、「ゴジラ」をはじめとする東宝怪獣キャラクターの商品化権収入等が伸長

また、劇場用パンフレット、キャラクターグッズにおいては「劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猿飛座再来」「劇場版『名探偵コナン 隻眼の残像』」「チェンソーマン レゼ篇」をはじめとする当社配給作品の販売が好調に推移した他、カードゲーム等の「ゴジラ」商品の販売が好調

一方、のれんの償却額の増加や、前年同期に好調だった「ゴジラ-1.0」「葬送のフリーレン」等のパッケージ販売やTOHO animation作品の商品物販が減少したこと等により減益

YoY

TOHO animationのソース別営業収入・国内外構成比(3Q累計)

ソース別営業収入

(単位:百万円)

	2025年2月期 3Q累計	2026年2月期 3Q累計	増減	増減率	主な増減要因	構成比
配信	16,222	17,459	1,236	7.6%	「菫屋のひとりごと」「SPY×FAMILY」「Dr.STONE」等が国内外で好調	52.9%
キャラクターライセンス	8,352	7,687	△664	△8.0%	「呪術廻戦」等が海外で好調だったが、前年同期は「劇場版ハイキュー!!」が大きく貢献	23.3%
商品物販	6,751	2,677	△4,073	△60.3%	前年同期は「劇場版ハイキュー!!」「僕のヒーローアカデミア」等のキャラクターグッズが伸長	8.1%
パッケージ	2,598	872	△1,726	△66.4%	前年同期は「劇場版ハイキュー!!」「葬送のフリーレン」等が好調	2.6%
配分金 その他※1	2,776	4,330	1,554	56.0%	「Dr.STONE」「劇場版ハイキュー!!」等が貢献	13.1%
合計	36,702	33,028	△3,673	△10.0%		
参考:劇場公開(国内)	7,020	1,470	△5,549	△79.1%	「劇場版 呪術廻戦『渋谷事変 特別編集版』×『死滅回游 先行上映』」がヒットしたものの、前年同期は「劇場版 ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」を劇場公開	

国内外構成比※2

(単位:百万円)

	2025年2月期 3Q累計	2026年2月期 3Q累計	増減	増減率	主な増減要因	構成比
国内	23,986	20,738	△3,248	△13.5%	前年同期は「劇場版ハイキュー!!」「僕のヒーローアカデミア」等のキャラクターグッズが伸長	62.8%
海外	12,715	12,290	△425	△3.3%	配信では「SPY×FAMILY」等、キャラクターライセンスでは「呪術廻戦」等が好調だったが、前年同期は「僕のヒーローアカデミア」等が貢献	37.2%

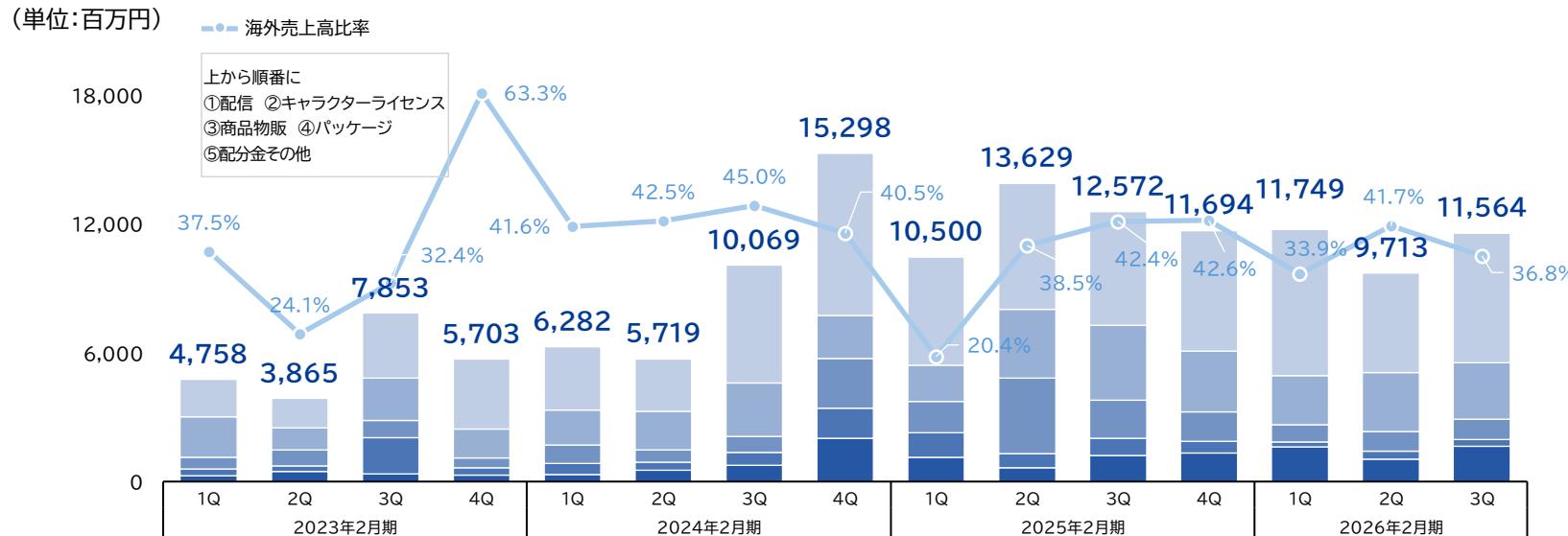
・本表の対象範囲は、TOHO animationレーベル及びこれに準ずる作品です

・当資料は、アニメ事業に関する開示情報の充実性の観点から自主的に作成したものであり、他の決算資料における数値とは整合しない場合があります

・各ソースの収益認識時期は次の通り。配信・キャラクターライセンス:知的財産を使用する権利の許諾開始時点、商品物販・パッケージ:顧客に商品を引き渡した時点、配分金・ゲーム:報告書受領時点、劇場公開:映画上映時点

※1 ゲームを含む ※2 劇場公開(国内)を除く

TOHO animationのソース別営業収入の推移(四半期)



① 配信	1,724	1,349	3,029	3,251	2,961	2,430	5,490	7,551	5,047	5,872	5,302	5,619	6,801	4,629	6,028
② キャラクターライセンス	1,907	1,037	1,980	1,355	1,621	1,811	2,483	2,000	1,688	3,192	3,471	2,832	2,290	2,760	2,636
③ 商品物販	526	747	798	456	859	574	747	2,338	1,463	3,517	1,770	1,353	816	910	950
④ パッケージ	329	263	1,670	341	517	357	585	1,391	1,133	655	809	544	221	354	296
⑤ 配分金その他	270	467	372	297	322	544	762	2,017	1,166	391	1,218	1,344	1,618	1,059	1,653
劇場公開	1,365	623	427	921	1,856	226	131	6,982	4,120	2,426	473	63	135	368	965

(注)2026年2月期より管理会計システムが変更となったため、過去の数値の集計方法とは異なる

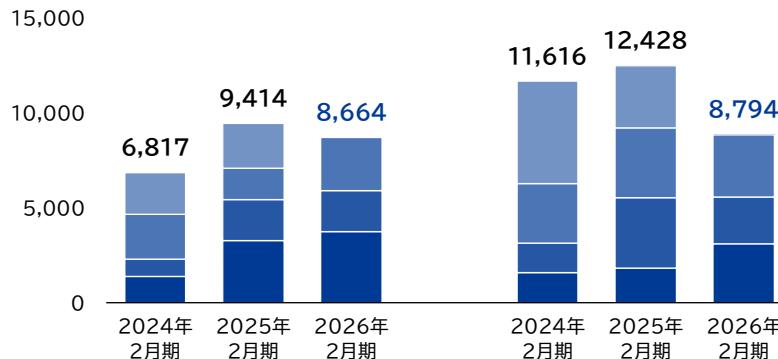
(注)海外売上高は「配信」と「キャラクターライセンス」のみ

TOHO animation 配信・キャラクターライセンス収入の状況(四半期)

動画配信やキャラクターライセンスの収益が、アニメビジネスの堅調な成長を牽引

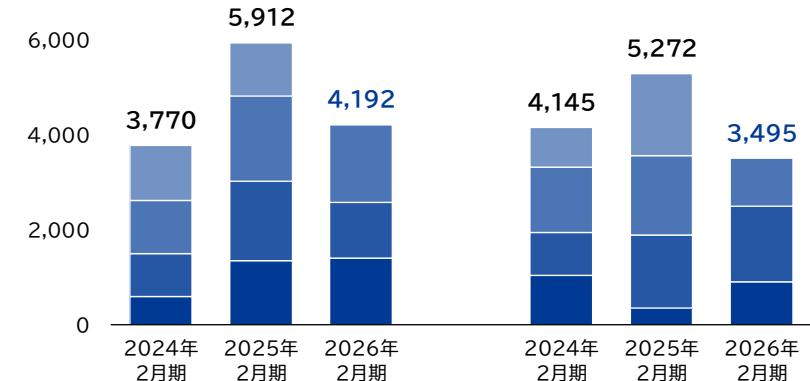
配信収入

(単位:百万円) 20,000
国内 海外



キャラクターライセンス収入

(単位:百万円) 8,000
国内 海外



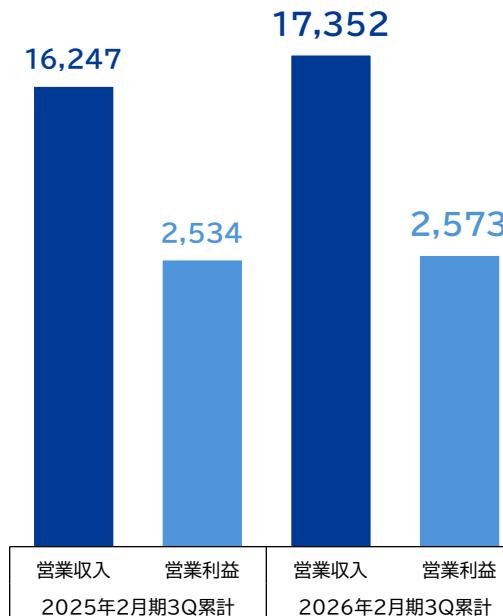
4Q	2,189	2,357	5,361	3,262
3Q	2,338	1,647	2,778	3,151
2Q	905	2,160	2,171	3,711
1Q	1,383	3,247	3,715	1,578

4Q	1,168	1,109	831	1,723
3Q	1,107	1,796	1,375	1,674
2Q	907	1,663	903	1,529
1Q	586	1,343	1,034	345

演劇事業セグメントの業績(3Q累計)

帝国劇場の休館中も主催公演の回数確保に努めたことに加え、「『ナイツ・テイル-騎士物語-』ARENA LIVE」や「エリザベート」が大入りとなったこと等により、増収増益に

(単位:百万円)



	2025年2月期				2026年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
演劇	営業収入	5,246	4,728	6,273	6,642	5,117	5,580	6,654
	営業利益	1,009	231	1,293	1,595	70	926	1,576
参考	公演回数	234	174	270	268	254	176	298

業績分析(増減要因)

YoY 帝国劇場の休館中もシアタークリエ(「ボニー＆クライド」「陽気な幽霊」「Nostalgic Cabaret」「Only 1, NOT No.1」「ジャージー・ボーイズ」「エノケン」「バグダッド・カフェ」)や、外部の劇場を活用し、主催公演の回数確保に努めた
「『ナイツ・テイル-騎士物語-』ARENA LIVE(東京ガーデンシアター)」「エリザベート(東急シアターオーブ)」は大入りとなった他、「レ・ミゼラブル」「Once」の社外公演等を展開し、増収

営業利益は1Qに借館料等の公演に係る費用等の増加があったものの、増収による収益の底上げにより増益に

不動産事業セグメントの業績(3Q累計)

営業収入は堅調に推移。大規模修繕費が減少したこと等により増益

(単位:百万円)



		2025年2月期				2026年2月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
不動産 賃貸	営業収入	9,419	9,422	9,502	9,603	9,474	9,419	9,433	
	営業利益	2,835	2,880	3,042	1,982	3,767	3,177	3,123	
道路事業	営業収入	8,062	6,885	6,885	8,439	7,830	6,821	6,571	
	営業利益	1,551	971	1,014	1,267	1,801	977	812	
不動産 保守・管理	営業収入	2,908	2,499	3,072	2,949	2,843	2,924	3,356	
	営業利益	352	252	381	295	391	347	330	

業績分析(増減要因)

- 不動産
賃貸** YoY 全国に所有する不動産が堅調に稼働したこと等により横ばいで推移。利益は前年同期と比べ大規模修繕費が減少したこと等により増益
- 道路事業** YoY 大型工事案件の減少があったものの、賃貸用事業用地等の物件が堅調に稼働したこと等により、減収増益
- 不動産
保守・管理** YoY 東宝ビル管理㈱及び東宝ファシリティーズ㈱において、新規受注や既存取引先との請負金額の改定等に努めたことにより、增收増益

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2025年2月末	2025年11月末	増減	増減理由及び備考
流動資産	202,050	243,751	41,700	有価証券+22,827、現先短期貸付金+8,987等 (参考)棚卸資産※1の残高:23,095
固定資産	451,017	461,937	10,920	
有形固定資産	243,502	246,082	2,580	建設仮勘定+2,831、土地+2,168、建物及び構築物△3,431等
無形固定資産	30,751	29,678	△1,073	ソフトウェア+2,062、のれん△1,553、その他△1,581
投資その他の資産	176,764	186,177	9,412	投資有価証券+8,923等
資産合計	653,068	705,689	52,620	
流動負債	90,941	95,347	4,405	その他+6,391、未払法人税等△1,678等 (参考)短期借入金の残高:42、1年内返済予定の長期借入金の残高:302
固定負債	67,311	73,873	6,561	その他+6,245等 (参考)長期借入金の残高:1,350
負債合計	158,253	169,220	10,967	
株主資本	425,608	456,621	31,013	自己株式+40,336※2、利益剰余金△6,143、資本剰余金△3,179
その他の包括利益累計額	52,781	63,152	10,371	その他有価証券評価差額金+13,319、為替換算調整勘定△2,926等
非支配株主持分	16,425	16,693	267	—
純資産合計	494,815	536,468	41,652	
負債純資産合計	653,068	705,689	52,620	
自己資本比率	73.3%	73.7%	+0.4ポイント	

※1 主に当社が製作する映画やアニメの製作品及び仕掛け品を含む(製作出資映画については公開月に85%を償却、残り15%は翌半期に償却)

※2 自己株式の消却:将来の自己株式の処分による株式価値の希薄化懸念を払拭するために、2025年4月30日に10,490,633株を消却

連結キャッシュ・フロー計算書(3Q累計)

(単位:百万円)

2026年2月期 3Q累計		主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	53,139	税金等調整前四半期純利益68,245、減価償却費10,247、その他10,433 法人税等の支払額△24,269、投資有価証券売却損益(△は益)△8,913
投資活動による キャッシュ・フロー	2,248	有価証券の売却による収入45,710、投資有価証券の売却による収入10,555 有価証券の取得による支出△37,936、有形固定資産の取得による支出△11,858
財務活動による キャッシュ・フロー	△16,201	配当金の支払額△15,515
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△206	
現金及び現金同等物の増減額	38,979	
現金及び現金同等物の期首残高	76,608	
現金及び 現金同等物四半期末残高	115,588	

3 — 業績見通し／株主還元

2026年2月期通期業績予想 (2025年10月15日修正から変更無し)

3Q累計利益は大幅に上振れて進捗も、4Qの映画事業等が弱含み見通しのため、前回公表値を据え置き

(単位:百万円)

	2026年2月期 (10/15修正)	2025年2月期 実績	修正値 対 前期実績	
			差	比
営業収入	360,000	313,171	46,828	15.0%
営業利益	65,000	64,684	315	0.5%
経常利益	65,500	64,455	1,044	1.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	47,500	43,357	4,142	9.6%

2026年2月期 セグメント別 営業収入予想(2025年10月15日修正から変更無し)

(単位:百万円)

	2026年2月期 (修正値)	2025年2月期※ (旧開示基準)
映画事業	179,000	209,253
映画営業	66,200	55,958
映画興行	93,800	75,633
映像関連	19,000	77,661
IP・アニメ事業	75,900	—
演劇事業	22,500	22,890
不動産事業	81,300	79,653
不動産賃貸	40,200	37,949
道路事業	29,300	30,274
不動産保守・管理	11,800	11,430
その他事業	1,300	1,372

※ 2025年2月期実績は、セグメント区分変更前の数値となります

株主還元

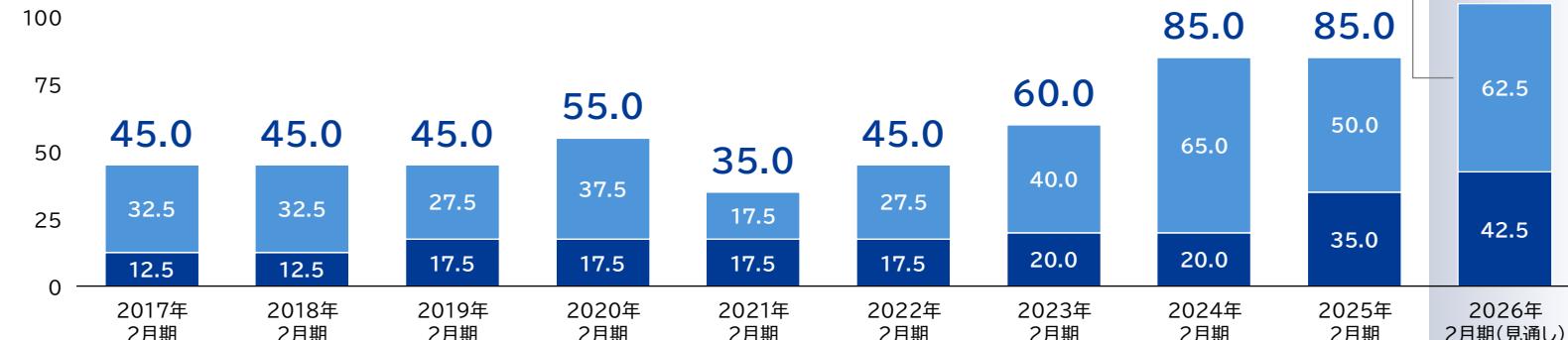
株主還元の方針(中期経営計画2028(FY2026-FY2028))

年間85円/1株の配当を下限に連結配当性向35%以上かつ機動的な自己株式取得を実施

期末配当予想を42.5円(期初予想)から62.5円に修正

1株当たり配当額等の推移

(単位:円)

■ 中間 ■ 期末


中期経営計画2025
年間40円をベース・連結配当性向30%以上

中期経営計画2028

105.0

62.5

42.5

配当性向(%)	24.6	24.2	26.8	27.0	42.4	26.9	31.5	32.8	33.4	—
総還元性向※1(%)	49.7	34.7	29.5	27.1	89.2	46.4	61.9	32.9	79.6	—
配当総額(億円)	81.7	81.1	81.0	98.9	62.2	79.6	105.1	148.6	144.6	—
自己株式の取得額(億円)	84.4	35.4	8.3	0.1	68.7	57.9	101.9	0	200.6	149.4※2

※1 総還元性向=(配当総額+自己株式の取得額)÷親会社株主に帰属する当期純利益×100

※2 自己株式の公開買付けを実施(2025年11月)

Appendix 1 ラインナップ

映画事業

2026年2月期 興行収入10億円以上の作品一覧

(2025年12月末時点)

東宝 配給作品

(単位:億円)

作品名	公開日	興行収入
劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猿窓座再来	7/18	<u>387.9</u>
国宝	6/6	<u>185.3</u>
劇場版「名探偵コナン 隻眼の残像(フラッシュバック)」	4/18	<u>147.1</u>
劇場版「チェンソーマンレゼ篇」	9/19	<u>100.3</u>
劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッショントリニティ」	8/1	<u>52.6</u>
8番出口 ※	8/29	<u>51.4</u>
映画ドラえもん のび太の絵世界物語	3/7	<u>45.7</u>
ブラック・ショーマン	9/12	<u>23.7</u>
映画クレヨンしんちゃん 超華麗！灼熱のカスカベダンサーズ	8/8	<u>23.3</u>
秒速5センチメートル	10/10	<u>22.7</u>
#真相をお話します	4/25	<u>20.9</u>
劇場版 呪術廻戦「渋谷事変 特別編集版」×「死滅回遊 先行上映」	11/7	<u>20.6</u>
ドールハウス ※	6/13	<u>18.8</u>
MGA MAGICAL 10 YEARS ANNIVERSARY LIVE ~FJORD~ ON SCREEN	11/28	<u>12.8</u>
沈黙の艦隊 北極海大海戦	9/26	<u>11.2</u>

東宝東和等の配給作品

(単位:億円)

作品名	公開日	興行収入
ミッショントリニティ:インポッシブル/ファイナル・レコニング	5/23	<u>52.8</u>
ジュラシック・ワールド/復活の大地	8/8	<u>49.0</u>
ウイキッド ふたりの魔女	3/7	<u>35.4</u>

※幹事／共同幹事作品

下線部分は2025年10月「決算説明資料」からの更新箇所

映画事業

2025年2月期 興行収入10億円以上の作品一覧

(2025年12月末時点)

東宝 配給作品

(単位:億円)

作品名	公開日	興行収入
劇場版「名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちしるべ)」	24/4/12	158.0
キングダム 大將軍の帰還	24/7/12	80.3
ラストマイル	24/8/23	59.6
変な家 ※	24/3/15	50.7
映画ドラえもん のび太の地球交響楽	24/3/1	43.1
映画「グランメゾン・パリ」	24/12/30	42.0
僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト ※	24/8/2	36.0
機動戦士Gundam GQuuuuuuX-Beginning-	25/1/17	36.0
劇場版ドクターX FINAL	24/12/6	32.8
ファーストキス 1ST KISS ※	25/2/7	28.8
映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記	24/8/9	26.9
映画「ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-」	25/2/21	26.1
劇場版トリリオンゲーム	25/2/14	20.5

※幹事／共同幹事作品
下線部分は2025年10月「決算説明資料」からの更新箇所

作品名	公開日	興行収入
室井慎次 敗れざる者	24/10/11	19.2
スオミの話をしよう	24/9/13	17.7
ゴジラ×コング 新たなる帝国	24/4/26	17.4
室井慎次 生き続ける者	24/11/15	17.3
アンダーニンジャ	25/1/24	15.9
ディア・ファミリー ※	24/6/14	14.7
劇場版「ウマ娘 プリティーダービー 新時代の扉」	24/5/24	14.1
もしも徳川家康が総理大臣になつたら ※	24/7/26	12.0
四月になれば彼女は ※	24/3/22	11.9
劇映画 孤独のグルメ	25/1/10	10.3

東宝東和等の配給作品

(単位:億円)

作品名	公開日	興行収入
怪盗グルーのミニオン超変身	24/7/19	45.3

映画事業

2026年2月期以降 東宝(株)配給ラインナップ

(2026年1月14日時点)

東宝 配給作品

2026年2月期 作品名	公開日	①	②
映画ドラえもん のび太の絵世界物語	25/3/7	✓	
お嬢と番犬くん	3/14	✓	
映画「少年と犬」	3/20		
劇場版「名探偵コナン 隻眼の残像(フラッシュバック)」	4/18	✓	
#真相をお話しします	4/25	✓	
国宝	6/6	✓	
ドールハウス	6/13	✓	✓
劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猪窓座再来	7/18	✓	
劇場版「TOKYO MER ~走る緊急救命室~ 南海ミッション」	8/1	✓	
映画クレヨンしんちゃん 超華麗！灼熱のカスカベダンサーズ	8/8	✓	
隣のステラ	8/22		
8番出口	8/29	✓	✓
ブラック・ショーマン	9/12	✓	
劇場版「チェンソーマン レゼ篇」	9/19	✓	
沈黙の艦隊 北極海大海戦	9/26	✓	
秒速5センチメートル	10/10	✓	
「劇場版 呪術廻戦 0」復活上映	10/17	✓	
もののけ姫(4Kデジタルリマスター)	10/24	✓	
劇場版 呪術廻戦「渋谷事変 特別編集版」×「死滅回遊 先行上映」	11/7	✓	✓
平場の月	11/14		
果てしなきスカーレット	11/21		
ロマンティック・キラー	12/12	✓	
新解釈・幕末伝	12/19		
劇場版「緊急取調室 THE FINAL」	12/26		
恋愛裁判	26/1/23	✓	
ほどなく、お別れです	26/2/6	✓	
映画「教場 Requiem(レクイエム)」	26/2/20		
映画ドラえもん 新・のび太の海底鬼岩城	26/2/27		

①幹事／共同幹事作品 ②=2025年12月末時点で国内興収10億円以上の作品
下線部分は2025年10月「決算説明資料」からの更新箇所

2027年2月期/公開日未発表 作品名	公開日	①
ゴールデンカムイ 署走監獄襲撃編	26/3/13	
君が最後に遺した歌	26/3/20	✓
映画 えんとつ町のペペル ~約束の時計台~	26/3/27	
劇場版「名探偵コナン ハイウェイの墮天使」	26/4/10	
人はなぜラブレターを書くのか	26/4/17	
SAKAMOTO DAYS	26/4/29	
箱の中の羊	26年初夏	
ブルーロック	26年夏	
映画「キングダム」続編	26年夏	
映画ちいかわ 人魚の島のひみつ	26年夏	
映画クレヨンしんちゃん 奇々怪々！オラの妖怪バケーション	26年夏	
劇場版「TOKYO MER ~走る緊急救命室~ CAPITAL CRISIS」	26年夏	
踊る大捜査線 N.E.W.	26年秋	
汝、星のごとく	26年秋	✓
劇場版「全領域異常解決室」	26年秋	
ゴジラ-0.0	26/11/3	✓
劇場版「薬屋のひとりごと」	26年12月	✓
SUKIYAKI 上を向いて歩こう	26年	
劇場版「ハイキュー!! VS 小さな巨人」	27年	✓
映画「おそ松さん 人類クズ化計画!!!!?」	公開日調整中	

ラインナップ(<https://www.toho.co.jp/movie/lineup>)

映画事業

2026年2月期以降 東宝(株)配給ラインナップ

(2026年1月14日時点)

「TOHO NEXT」レベル

2026年2月期 作品名	公開日	①	②
映画しまじろう「しまじろうと ゆうきのうた」	3/14		
ZEROBASEONE THE FIRST TOUR [TIMELESS WORLD] IN CINEMAS	3/19		
アニメ「怪獣8号」第1期総集編／同時上映「保科の休日」	3/28	✓	
Love Letter【4K リマスター】	4/4		
劇場版総集編 呪術廻戦 懐玉・玉折	5/30	✓	
CHA EUN-WOO VR CONCERT : MEMORIES	6/20		
LUPIN THE IIIRD THE MOVIE 不死身の血族	6/27		
JO1 THE MOVIE「未完成」-Bon Voyage-	7/4	✓	
ONE IN A MILLION	10/24		
INI THE MOVIE「I Need I」	10/31	✓	
阪神タイガース THE OFFICIAL MOVIE 2025 -栄光の虎道-	11/14		
MGA MAGICAL 10 YEARS ANNIVERSARY LIVE ~FJORD ~ ON SCREEN	11/28	✓	
MGA MAGICAL 10 YEARS ANNIVERSARY DOCUMENTALY FILM ~THE ORIGIN~	11/28		
ATEEZ VR CONCERT : LIGHT THE WAY	12/5		
有吉の壁 劇場版アドリブ大河「面白城の18人」 同時上映～映画「京佳お嬢様と奥田執事～京佳お嬢様パリへ行く～」	26/1/16		
映画「JO1DER SHOW_2025 'WHEREVER WE ARE' IN TOKYO DOME - LIVE FILM」	26/1/30		

①幹事／共同幹事作品 ②=2025年12月末時点で国内興収10億円以上の作品
下線部分は2025年10月「決算説明資料」からの更新箇所

2027年2月期 作品名	公開日	①
GEMNIBUS vol.2	26/3/6	✓

ラインナップ(<https://www.toho.co.jp/movie/lineup>)

映画事業

2026年2月期以降 配給ラインナップ(東宝東和、東和ピクチャーズ、GKIDS)

(2026年1月14日時点)

東宝東和／東和ピクチャーズ 配給作品

作品名(ユニバーサル・ピクチャーズ作品／その他)	公開日
ウィキッド ふたりの魔女	3/7
プリジット・ジョーンズの日記 サイテ最高な私の今	4/11
BTS ARMY: FOREVER WE ARE YOUNG	7/30
ジュラシック・ワールド/復活の大地	8/8
ヒックとドラゴン	9/5
Mr.ノーバディ2	10/24
ブラック・フォン2	11/21
ファイブ・ナイツ・アット・フレディーズ2	26/1/23
ウィキッド 永遠の約束	26/3/6
ギャビーのドールハウス ザ・ムービー	26/3/13
ザ・スーパー・マリオギャラクシー・ムービー	26/4/24
ディスクロージャー・ディ	26年夏
英国ロイヤル・バレエ&オペラ in シネマ	順次公開中
パリ・オペラ座 IN シネマ 2026	順次公開中

作品名(パラマウント・ピクチャーズ作品)	公開日
BETTER MAN/ベター・マン	3/28
ミッション:インポッシブル/ファイナル・レコニング	5/23
Mr.ノボカイン	6/20
劇場版スマーフ/おどるキンコ村の時空大冒険	9/19
プリンス:サン・オブ・ザ・タイムズ	11/14
サムシング・エクストラ！ やさしい泥棒のゆかいな逃避行	12/26
ランニング・マン	26/1/30
おさるのベン	26/2/20
ヒリー・アイリッシュ - HIT ME HARD AND SOFT: THE TOUR (LIVE IN 3D)	26/3/20
劇場版スパンジ・ボブ 呪われた海賊と大冒険だワワワワ！	26年春
パウ・パトロール ザ・ダイノ・ムービー	26年夏
ストリートファイター／ザ・ムービー	26年

作品名(ワーナー・ブラザース作品)	公開日
嵐が丘	26/2/27
ザ・ブライド！	26/4/3
スーパーガール	26年夏
DIGGER/ディガー	26年

GKIDS 配給作品

作品名	公開日
WITCH WATCH	3/16
PRINCESS MONONOKE 4K IMAX	3/26
COLORFUL STAGE! The Movie: A Miku Who Can't Sing	4/17
WOLF CHILDREN	5/11
DAN DA DAN: Evil Eye	6/6
JUJUTSU KAISEN: Hidden Inventory / Premature Death	7/16
SUMMER WARS	7/27
SHIN GODZILLA	8/14
THE LEGEND OF HEI 2	9/5
LINDA LINDA LINDA 4K	9/19
THE GIRL WHO LEAPT THROUGH TIME	9/28
100 METERS	※1
ANGEL'S EGG 4K	11/19
JUJUTSU KAISEN : EXECUTION	12/5
LUPIN THE IIIRD: The Movie - The Immortal Bloodline	26/1/4
ALL YOU NEED IS KILL	26/1/16
KOKUHO※2	26/2/20
GODZILLA MINUS ZERO	26/11/6
Shaun The Sheep: The Beast of Mossy Bottom	26年秋

※1 10/10, 12~14のみ公開

※2 26/2/6にニューヨークとロサンゼルスで先行公開

東宝東和 配給ラインナップ(<https://tohotowa.co.jp/>)
 東和ピクチャーズ 配給ラインナップ(<https://towapictures.co.jp/>)
 GKIDS 配給ラインナップ(<https://gkids.com/films-series/>)

IP・アニメ事業

2025年以降 アニメラインナップ

(2026年1月14日時点)

TOHO animation作品

作品名	公開・放送予定	制作会社
アニメ「薬屋のひとりごと」第2期	25年1月～6月放送	TOHO animation STUDIO×OLM
アニメ「怪獣8号」第1期総集編／同時上映「保科の休日」	25年3月28日劇場公開(3週間限定)	Production I.G
アニメ「ヴィジランテ-僕のヒーロー アカデミア ILLEGALS-」	25年4月～6月放送	ポンズフィルム
アニメ「怪獣8号」第2期	25年7月～9月放送	Production I.G
アニメ「Dr.STONE SCIENCE FUTURE」第2クール	25年7月～9月放送	トムス・エンタテインメント
アニメ「ぱにるはかわいいスライム」第2期	25年7月～9月放送	TOHO animation STUDIO
アニメ「SPY×FAMILY」Season 3	25年10月放送	WITSTUDIO×CloverWorks
アニメ「僕のヒーローアカデミア FINAL SEASON」	25年10月放送	ポンズフィルム
アニメ「葬送のフリーレン」第2期	26年1月放送	マッドハウス
アニメ「ダーウィン事変」	26年1月放送	ベルノックス フィルムズ
アニメ「呪術廻戦 死滅回遊 前編」	26年1月放送	MAPPA
アニメ「ヴィジランテ-僕のヒーロー アカデミア ILLEGALS-」第2期	26年1月放送	ポンズフィルム
アニメ「TRIGUN STARGAZE」(シリーズ完結編)	26年1月放送	オレンジ
アニメ「お隣の天使様にいつの間にか駄目人間にされていた件」2期	26年4月放送	Project No.9
アニメ「ドロヘドロ」続編	26年春配信	MAPPA

※下線は2025年10月「決算説明資料」からの更新箇所

作品名	公開・放送予定	制作会社
アニメ「無職転生Ⅲ ～異世界行ったら本気だす～」	2026年放送	スタジオバインド
アニメ「BEASTARS FINAL SEASON」Part2	2026年配信	オレンジ
アニメ「スノウボーラース」	2026年放送決定	スタジオKAI
アニメ「Dr. STONE SCIENCE FUTURE」第3クール	2026年放送決定	トムス・エンタテインメント
アニメ「ふつつかな悪女ではございますが～雛宮蝶鼠とりかえ伝～」	2026年放送決定	動画工房
アニメ「薬屋のひとりごと」第3期	2026年10月／2027年4月放送	TOHO animation STUDIO×OLM
スペシャルアニメ「ハイキュー!! バケモノたちの行くところ」	テレビ放送決定	Production I.G
アニメ「狼と香辛料 MERCHANT MEETS THE WISE WOLF」2期	制作決定	パッショーネ
「ゴジラ」新作アニメシリーズ	制作決定	オレンジ × Igloo Studio
アニメ「怪獣8号」完結編	制作決定	Production I.G
アニメ「僕のヒーローアカデミア」第431話「More」	2026年5月2日放送	ポンズフィルム

ラインナップ:<https://tohoanimation.jp/portal/>

サイエンスSARU作品

作品名	公開・放送予定
アニメ「ダンダダン」第2期	25年7月～9月放送
アニメ「SANDA」	25年10月～12月放送
アニメ「天幕のジャードゥーガル」	2026年7月放送
アニメ「攻殻機動隊 THE GHOST IN THE SHELL」	2026年放送
アニメ「ダンダダン」第3期	2027年放送

ラインナップ:<https://sciencesaru.com/works>

IP・アニメ事業

ゲームラインナップ

(2026年1月14日時点)

※下線は2025年10月「決算説明資料」からの更新箇所

配信中ゲーム作品

作品名	配信開始	備考
「ゴジラ バトルライン」	<ul style="list-style-type: none"> 2021年6月(スマートフォン) 2022年8月(PC) 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン・PC向け 企画・制作・開発・運営:東宝 累計450万DL突破
「呪術廻戦 ファントムパレード」	<ul style="list-style-type: none"> 国内版:2023年11月(スマートフォン) グローバル版:2024年11月(スマートフォン) 2024年4月(PC) 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン・PC向け 企画・制作:サムザップ、東宝 開発・運営:サムザップ 全世界のプレイヤー数が2,500万人を突破
「怪獣8号 THE GAME」	<ul style="list-style-type: none"> 国内版・グローバル版:2025年8月(スマートフォン) 2025年10月(PC) 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン・PC向け 企画・制作:アカツキゲームス、東宝、プロダクション・アイジー 開発・運営:アカツキゲームス 宣伝協力:東宝、プロダクション・アイジー 累計500万DL突破

配信予定ゲーム作品

作品名	配信開始	備考
「天穂のサクナヒメ～ヒヌカ巡靈譚～」	<ul style="list-style-type: none"> 2026年2月(スマートフォン) ※PC版未定 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン・PC向け 企画・配信:東宝 制作:東宝、えーでるわいす 開発・運営:G2 Studios

ラインナップ:<https://www.toho.co.jp/anime/lineup-games>

演劇事業

2026年2月期以降 演劇作品ラインナップ

(2026年1月14日時点)

シアタークリエ

タイトル	日程
ミュージカル「ヒーロー」	25年2月～3月
ミュージカル「ボニー&クライド」	25年3月～4月
陽気な幽霊	25年5月
Nostalgic Cabaret	25年6月
“ever” Naoto Kaiho Stage Entertainment Activities 30th Concert	25年6月～7月
ふわ～ゆ～ meets 梅棒「Only 1, NOT No.1」	25年7月～8月
ミュージカル「ジャージー・ボーイズ」	25年8月～9月
音楽劇「エノケン」	25年10月
ミュージカル「バグダッド・カフェ」	25年11月
Yuichiro & Friends 2	25年11月～12月
ミュージカル「ダディ・ロング・レッグズ」	25年12月～26年1月
上演15周年記念公演「ピアフ」	26年1月
2時22分 ゴーストストーリー	26年2月～3月
ミュージカル「ブラッド・ブラザーズ」	26年3月～4月
VOICARION 10周年記念公演	26年4月
ミュージカル「レベッカ」	26年5月～6月
ミュージカル「RENT」	26年秋

その他主催公演

タイトル	日程	主な劇場名
ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」	25年3月	明治座
ミュージカル「1789 -バステイユの恋人たち-」	25年4月	明治座
ミュージカル「ウェイトレス」	25年4月	日生劇場
ミュージカル「フランケンシュタイン」	25年4月	東京建物 Brillia HALL
ミュージカル「ダンス オブ ヴァンパイア」	25年5月	東京建物 Brillia HALL
ミュージカル「二都物語」	25年5月	明治座
ミュージカル「梨泰院クラス」	25年6月	東京建物 Brillia HALL
ミュージカル「ナイツ・ティル -騎士物語-」ARENA LIVE	25年8月	東京ガーデンシアター
ミュージカル「レ・ミゼラブル」ワールドツアースペクタ キュラー	25年8月	東急シアターオーブ

※下線は2025年10月「決算説明資料」からの更新箇所

タイトル	日程	主な劇場名
ミュージカル「四月は君の嘘」	25年8月～9月	昭和女子大学人見記念講堂
ミュージカル「Once」	25年9月	日生劇場
ミュージカル「のだめカンタービレ」シンフォニックコンサート！	25年9月	東京ガーデンシアター
ミュージカル「SPY×FAMILY」	25年9月～10月	日生劇場
CLUB SEVEN another place II	25年10月	有楽町よみうりホール
ミュージカル「エリザベート」	25年10月～11月	東急シアターオーブ
ミュージカル「マタ・ハリ」	25年10月～11月	東京建物 Brillia HALL
キャッシュ・オン・デリバリー	25年12月	THEATER MILANO-Za
ミュージカル「十二国記 -月の影 影の海-」	25年12月	日生劇場
ミュージカル「レイディ・ベス」	26年2月～3月	日生劇場
Concert for LEVAY	26年2月	東急シアターオーブ
～Happy 80th Birthday～	26年2月～3月	明治座
大地の子	26年3月	東京建物 Brillia HALL
ミュージカル「ロマンティックス・アノニマス」	26年3月	東京国際フォーラム ホールC
ミュージカル「ジキル&ハイド」	26年3月	
ミュージカル「天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～」	26年3月～4月	明治座
ミュージカル「チャーリーとチョコレート工場」	26年3月～4月	ウエスタ川越、日生劇場
ミュージカル「メリー・ポピンズ」	26年3月～5月	東急シアターオーブ
ミュージカル「アイ・ラブ・坊っちゃん」	26年5月	明治座
ミュージカル「SPY×FAMILY 2 爆弾犬篇&豪華客船篇」	26年9月～10月	東京建物 Brillia HALL
ミュージカル「ミス・サイゴン」	26年10月～11月	東急シアターオーブ
ミュージカル「レ・ミゼラブル」	27年秋 (未定)	

海外公演

タイトル	日程	劇場名
舞台「千と千尋の神隠し」上海公演	25年7月～8月	上海文化広場
舞台「千と千尋の神隠し」ソウル公演	26年1月～3月	芸術の殿堂 オペラハウス
ラインナップ: https://www.toho.co.jp/stage/lineup		

Appendix 2 業績

セグメント別 営業利益率の推移

(単位:%)

	2021年2月期					2022年2月期					2023年2月期					2024年2月期					2025年2月期					2026年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
全社	8.5	10.5	15.8	9.7	11.7	18.2	18.2	13.3	19.7	17.5	23.1	20.0	16.6	14.0	18.4	24.7	19.0	17.1	22.0	20.9	28.6	21.0	16.9	15.0	20.7	22.8	20.4	21.1	21.4
映画事業	—	6.5	15.5	7.5	8.9	16.1	18.8	9.3	22.6	17.2	23.4	20.7	15.5	14.2	18.4	25.8	22.0	16.5	26.6	23.2	33.5	25.2	17.3	18.5	24.3	22.5	22.3	23.6	22.8
映画営業※1	2.4	33.7	19.0	3.7	16.3	21.9	26.4	22.2	41.9	28.5	40.9	35.9	34.3	22.3	33.1	41.8	35.9	23.6	46.9	38.5	50.0	39.0	28.8	29.8	39.5	47.6	33.7	18.9	
映画興行	—	—	12.9	1.0	—	2.3	5.7	—	7.1	2.9	12.0	15.4	3.7	8.4	10.4	20.1	16.2	6.7	10.2	14.1	17.8	15.5	4.7	11.3	12.9	17.9	21.3	16.8	19.0
映像関連※1	14.2	12.2	14.5	23.6	16.5	24.7	28.5	18.5	27.5	25.1	22.4	19.3	15.3	15.2	17.7	19.4	20.1	21.0	28.6	23.2	34.0	23.4	21.6	19.3	24.4	15.9	1.7	9.3	
IP・アニメ事業 ※1																										42.7	34.9	29.6	
演劇事業	—	—	3.8	—	—	16.8	18.0	24.5	0.5	25.3	16.2	9.6	20.5	12.5	15.2	22.5	1.2	20.6	15.2	15.5	19.2	4.9	20.6	24.0	18.0	1.4	16.6	23.7	14.8
不動産事業	29.6	27.0	25.6	22.5	26.2	29.6	23.6	23.5	24.4	25.3	29.7	27.5	25.8	22.2	26.3	29.4	24.2	25.8	22.5	25.5	23.2	21.8	22.8	16.9	21.1	29.6	23.5	22.0	25.1
不動産賃貸	47.6	44.5	44.6	39.9	44.2	46.6	40.7	42.4	43.1	43.2	43.6	43.8	42.2	35.4	41.2	45.4	37.6	38.0	36.8	39.4	30.1	30.6	32.0	20.6	28.3	39.8	33.7	33.1	35.5
道路事業	21.7	14.2	11.7	10.5	14.7	21.0	11.0	10.8	14.3	14.5	24.1	16.5	14.7	14.2	17.6	21.0	14.6	18.7	12.6	16.8	19.2	14.1	14.7	15.0	15.9	23.0	14.3	12.4	16.9
不動産 保守・管理	3.3	8.3	8.1	8.6	7.0	9.0	10.7	2.7	7.2	7.4	9.0	9.0	9.6	9.5	9.3	9.0	12.8	9.9	10.7	10.7	12.1	10.1	12.4	10.0	11.2	13.8	11.9	9.8	11.7

※1「映像関連事業」は2025年2月期までは「映像事業」。2026年2月期より「IP・アニメ事業」を新設したことにより、映画営業と映像事業の一部を「IP・アニメ事業」に移管 ※2 営業利益率:マイナスは「-」で表示

※3 2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」を適用 ※4 2025年2月期のイタリック数値は、セグメント変更後の2025年2月期の営業利益率を示す

営業外収益・費用

	2025年2月期 3Q累計	2026年2月期 3Q累計	増減	主な増減要因
受取利息	236	519	282	—
受取配当金	1,492	1,241	△250	—
為替差益	293	3	△289	—
その他	421	603	182	—
営業外収益合計	2,443	2,367	△75	—
支払利息	56	9	△46	—
持分法による 投資損失	3,605	1,529	△2,075	FIFTH SEASON の業績改善、のれん の償却額減
その他	30	39	9	—
営業外費用合計	3,692	1,579	△2,113	—

	2025年2月期				2026年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受取利息	56	85	94	399	107	237	174	
受取配当金	27	1,109	355	1,005	21	1,208	11	
為替差益	217	△207	283	20	—	—	3	
その他	142	118	160	219	342	231	30	
営業外収益合計	443	1,105	894	1,644	470	1,677	219	
支払利息	13	25	17	2	3	5	1	
持分法による 投資損失	1,644	979	981	605	757	214	557	
為替差損	—	—	—	—	115	3	△118	
その他	11	10	8	17	5	△2	36	
営業外費用合計	1,668	1,015	1,008	624	881	221	476	

セグメント別の減価償却費

(単位:百万円)

	2025年2月期※ (旧開示基準)				2026年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
映画事業	918	913	951	1,868	869	944	1,017	
IP・アニメ事業					361	381	372	
演劇事業	81	77	79	70	50	38	39	
不動産事業	1,964	2,116	2,037	3,043	1,903	1,872	1,878	
その他	13	13	13	14	9	10	10	
調整額	42	43	40	59	158	160	167	
合計	3,020	3,164	3,122	5,056	3,352	3,408	3,486	

※ 2025年2月期実績は、セグメント区分変更前の数値となります

※ のれんの償却額を除く

特別利益・特別損失

	2025年2月期 3Q累計	2026年2月期 3Q累計	増減	主な増減要因
固定資産売却益	76	—	△76	—
投資有価証券売却益	—	8,913	8,913	政策保有株式の売却(株式会社丸井グループ、株式会社IMAGICA GROUP)
受取保険金	20	—	△20	—
受取許諾料	300	—	△300	—
その他	—	200	200	—
特別利益合計	396	9,113	8,716	—
固定資産圧縮損	9	—	△9	—
固定資産解体費用	—	689	689	不動産事業における解体費用発生(調布市等)
立退保証金	150	—	△150	—
独占禁止法関連損失	—	1,059	1,059	スバル興業において発生
特別損失合計	159	1,748	1,588	—

	2025年2月期				2026年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
固定資産売却益	—	—	76	219	—	—	—	—
投資有価証券売却益	—	—	—	2,859	—	8,913	—	—
その他	20	—	300	—	—	—	—	200
特別利益合計	20	—	376	3,078	—	8,913	200	—
減損損失	—	—	—	1,631	—	—	—	—
固定資産圧縮損	9	—	—	—	—	—	—	—
固定資産解体費用	—	—	—	—	574	115	—	—
立退保証金	—	150	—	74	—	—	—	—
独占禁止法関連損失	—	—	—	—	—	—	—	1,059
特別損失合計	9	150	—	1,705	574	115	1,059	—

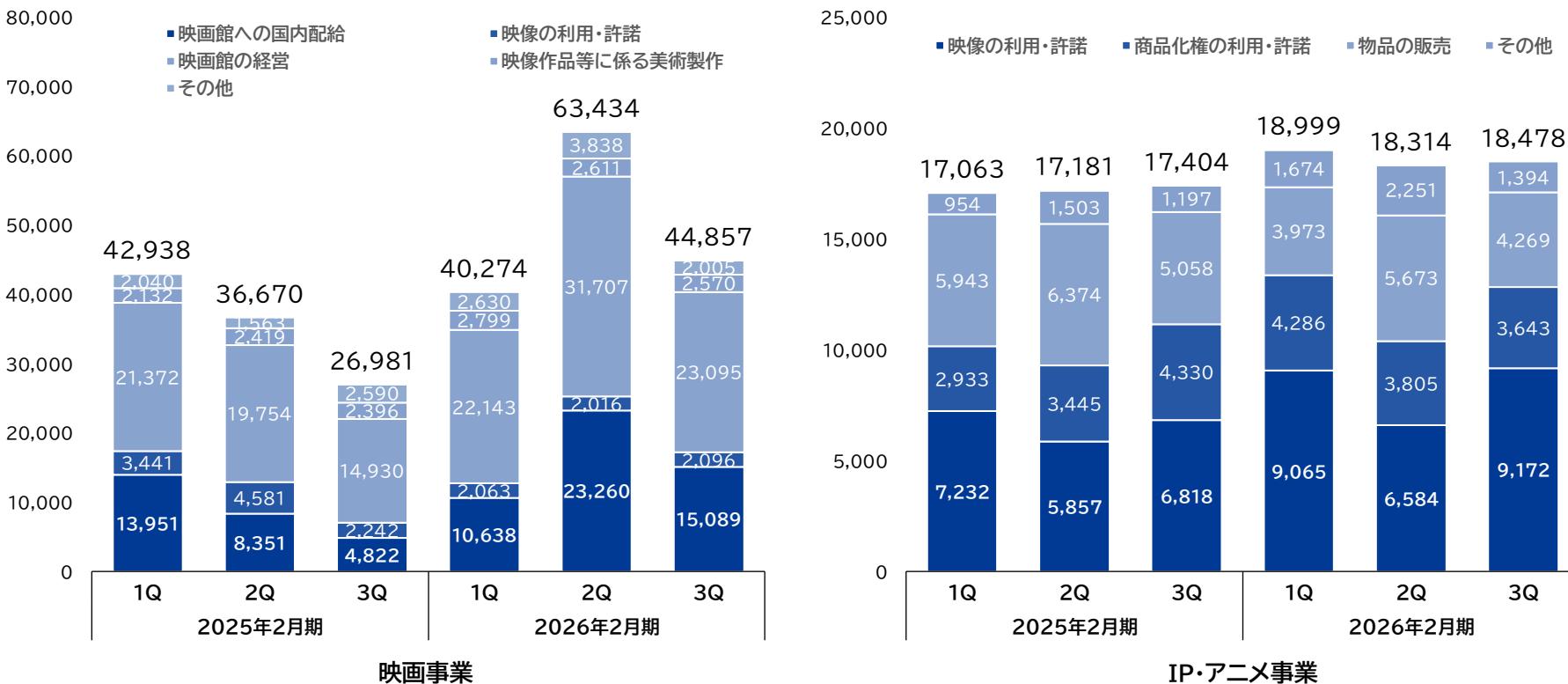
収益の分解情報(顧客との契約から生じる収益を分解した情報)(累計)

2026年2月期 3Q累計	報告セグメント				その他	(単位:百万円)
	映画事業	IP・アニメ事業	演劇事業	不動産事業		
主要なサービス						
映画館への国内配給	48,988	—	—	—	—	48,988
映像の利用・許諾	6,176	24,822	—	—	—	30,998
映画館の経営	76,946	—	—	—	—	76,946
映像作品等に係る美術製作	7,981	—	—	—	—	7,981
商品化権等の利用・許諾	—	11,735	—	—	—	11,735
商品の販売	—	13,915	—	—	—	13,915
演劇の製作・興行	—	—	17,352	—	—	17,352
道路の維持管理・清掃等	—	—	—	19,476	—	19,476
不動産の保守・管理	—	—	—	9,124	—	9,124
その他	8,474	5,319	—	1,000	976	15,771
顧客との契約から生じる収益	148,566	55,792	17,352	29,601	976	252,290
その他の収益※	—	—	—	29,075	—	29,075
外部顧客への売上	148,566	55,792	17,352	58,676	976	281,366

※ その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等が含まれております。

収益の分解情報(映画事業、IP・アニメ事業)(四半期)

(単位:百万円)



収益の分解情報(セグメント変更前・後比較と主な構成要素)

(2025年10月「決算説明資料」の再掲)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報(2026年2月期3Q 決算短信 p.12-13)の各項目に含まれる主な要素は下記の通り(同一番号は同一内容を示す)

■セグメント変更前 (2025年2月期まで)

映画事業	主な構成要素	該当する 旧セグメント
映画館への配給	①配給 ※ゴジラ映画、TOHO animationアニメ映画作品の国内配給分を含む	・映画営業
劇場用映画の国内配信	②映画の国内配信	・映画営業
映画館の経営	③映画興行	・映画興行
アニメコンテンツの利用	④アニメ作品の国内・国外の二次利用 (番組販売(例:配信サービス、機内上映)) ⑤アニメや実写(映画作品等)の商品化権収入 ⑥アニメの製作出資収入	・映像事業
パッケージの販売	⑦パッケージ販売(例:DVD)	・映像事業
映像作品等に係る美術製作	⑧映画等の美術セット等の製作	・映像事業
その他	⑨実写(映画作品等)の国内の二次利用(配信を除く)、 国外の二次利用(TGやTEAが販売代行しているもの) ⑩TIやGKIDSの収入 ⑪実写(映画作品等)の製作出資収入 ⑫グッズ、パンフレット、ゴジラ・ストア、ECサイトの収入 ⑬ゴジラの商品化権収入 ⑭実写(映画作品等)の制作、スタジオ運営、広告事業 ⑮アニメの制作(サイエンスSARU等)、ゲーム、音楽	・映画営業 (⑨⑪) ・映像事業 (⑩⑫⑬⑭⑮)

■セグメント変更後 (2026年2月期以降)

	映画事業			IP・アニメ事業
	映画営業	映画興行	映像関連	
映画館への国内配給	①			
映像の利用・許諾	②⑨⑪			④⑥⑩
映画館の経営		③		
映像作品等に係る美術製作			⑧	
商品化権等の利用・許諾				⑤⑬
商品の販売				⑦⑫
その他			⑭	⑯

営業収入：旧開示基準との比較

■2026年2月期 営業収入実績

	(単位:百万円)		
	1Q	2Q	3Q
映画事業	40,274	63,434	44,857
映画営業	12,992	25,784	17,515
映画興行	22,143	31,707	23,095
映像関連	5,138	5,942	4,246
IP・アニメ事業	18,999	18,314	18,478

■2026年2月期 営業収入実績(旧開示基準)

	(単位:百万円)		
	1Q	2Q	3Q
映画事業	59,273	81,749	63,336
映画営業	14,805	27,996	21,174
映画興行	22,143	31,707	23,095
映像事業	22,324	22,045	19,065



※セグメント変更の詳細についてはp.63~66を参照

※旧開示基準の数値については、監査法人による監査を受けていないため参考値

TOHO animationソース別営業収入と収益分解情報との関連

- 「TOHO animationソース別営業収入」の区分(スライドp.19)と「顧客との契約から生じる収益を分解した情報」(スライドp.44)の関係は下記の通り
- TOHO animationソース別営業収入とIP・アニメ事業セグメント収益分解情報の合計値の差分は、スライドp.66に記載されるTOHO animationを除く組織・子会社の収益(例:ゴジラ関係、実写映画のパッケージ・グッズ・パンフレット等、GKIDS、サイエンスSARU等)



※TOHO animation作品関連は、同ソース別営業収入の区分にも一部含まれる

TOHO animationソース別営業収入の区分

	2025年2月期 3Q累計	2026年2月期 3Q累計	前年同期差
配信	16,222	17,459	1,236
キャラクターライセンス	8,352	7,687	△664
商品物販	6,751	2,677	△4,073
パッケージ	2,598	872	△1,726
配分金 その他※	2,776	4,330	1,554
合計	36,702	33,028	△3,673

※ゲームを含む

IP・アニメ事業セグメント: 収益分解情報

	2025年2月期 3Q累計	2026年2月期 3Q累計	前年同期差
映像の利用・許諾	19,907	24,822	4,914
商品化権等の利用・許諾	10,710	11,735	1,025
商品の販売	17,375	13,915	△3,460
その他※	3,656	5,319	1,663
合計	51,649	55,792	4,143

※ゲームを含む

2025年2月期 海外売上高の地域別構成比

(2025年7月「決算説明資料」の再掲)

営業収入内訳

(単位:百万円)

350,000

300,000

250,000

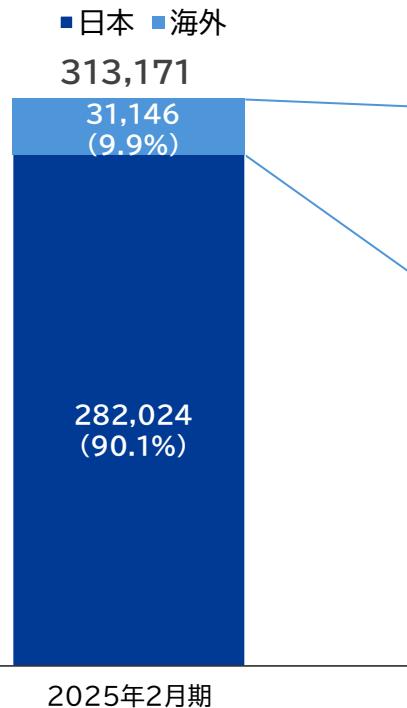
200,000

150,000

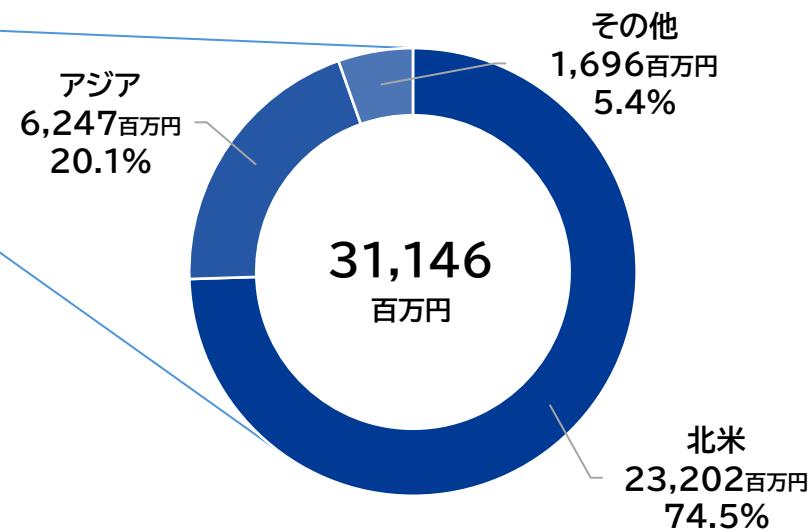
100,000

50,000

0



海外売上高 地域別構成比



※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております

Appendix 3 事業

映画事業

中期経営計画の内容と進捗状況

- 「自社企画作品の製作推進」「映画以外のコンテンツ配給の拡充」により収益力をさらに高め、映画事業をより強固にしていきます。
- 海外グループ会社との連携により、世界を見据えた日本実写コンテンツの企画開発を促進します。

Point
1

自社企画・製作の推進

- 企画/宣伝人材の増強と製作費の積極投下によって、2032年までに自社製作作品の供給能力を前中計期間の2倍(年約10本)に高めることを目指す

Point
2

世界を目指した実写企画開発の促進

- グローバル企画専門部署を設置し、世界へ届ける企画開発を促進

Point
3

配給ラインナップのさらなる拡充

- 年約30本の邦画編成(東宝配給)、洋画(東宝東和・東和ピクチャーズ配給)に加え、TOHO NEXTレーベル(演劇・音楽・スポーツ等)拡充で新たなお客様とつながり、グループ年間興収1,000億円超を恒常に目指す

Point
4

選ばれるTOHOシネマズに

- 映画館へ継続的に設備投資し、最高水準の鑑賞環境を提供
 - IMAX、Dolby Cinema等の特殊シアター、プレミアムシートを追加導入
 - コンセッションにセルフ・モバイルオーダーシステムを導入
 - 2026年、東京・大井町と名古屋・栄に2つの新館をオープン予定

進捗状況

Point1 自社企画・製作の推進

- 2026年2月期は製作20本(うち幹事作品7本)を予定
- 2027年2月期は製作21本(うち幹事作品6本)を予定(26年1月14日時点)

Point2 世界を目指した実写企画開発の促進

- 2026年4月、映画企画部に新組織を設置予定

Point3 配給ラインナップのさらなる拡充

- 2026年2月期はグループ全体で63作品(うち東宝44作品※、東宝東和・東和ピクチャーズ19作品)を予定
- 2027年2月期のリリース済作品はグループ全体で30作品(1月14日時点:東宝19作品、東和11作品)。今後も続々とリリース予定

Point4 選ばれるTOHOシネマズに

- 2026年3月28日開業の「TOHOシネマズ 大井町」に Dolby Cinema®の導入が決定
- 「TOHOシネマズ 日比谷」においてセルフ・モバイルオーダーシステムを導入(2025年12月末時点で日比谷、上野、立川立飛の合計3劇場で導入済)

※「TOHO NEXT」作品を含む

映画事業

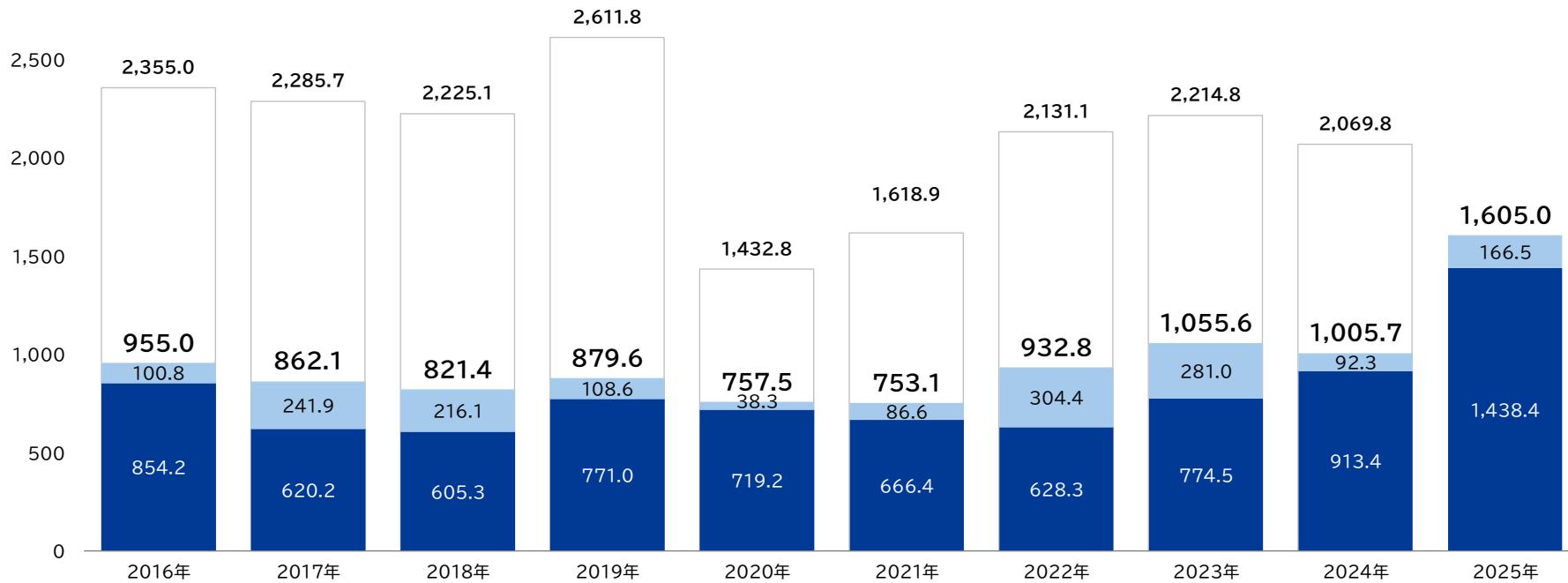
東宝グループ 国内年間興行収入の推移

※東宝の映画営業部及び東宝東和/東和ピクチャーズが配給した作品の興行収入

(単位:億円)

3,000

■東宝 ■東宝東和・東和ピクチャーズ □興行収入(全国)

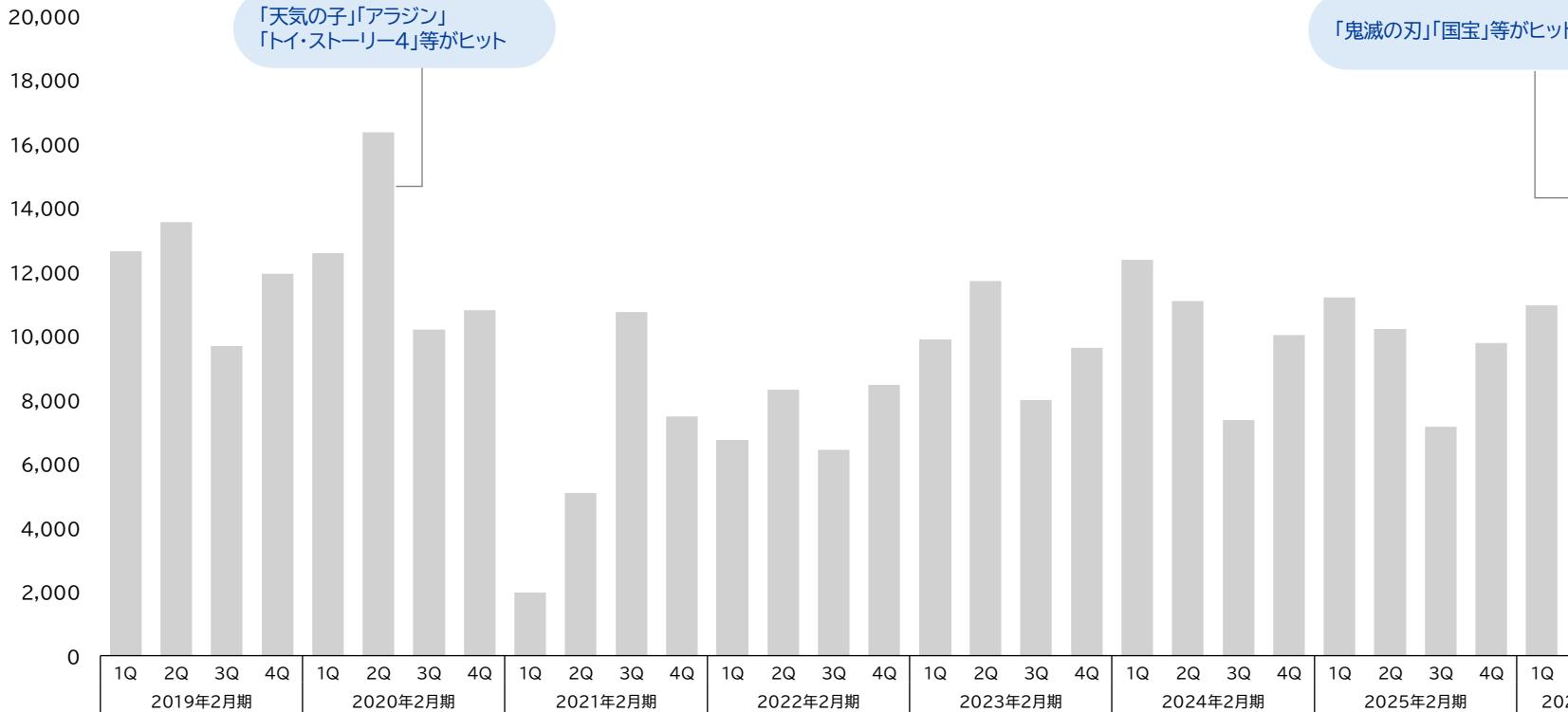


※ 2025年2月期より実写やアニメ、音楽、ステージ等の配給を行うレベル「TOHO NEXT」作品を含む

映画事業

東宝グループ映画興行部門 映画館入場者数の推移

(単位:千人)



映画事業

映画事業セグメント:作品の商流別計上先

(2025年10月「決算説明資料」の再掲)

「劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猪窓座再来」と「国宝」の商流別計上先は以下の通り

①「劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猪窓座再来」

	作品製作(出資配分金)	劇場への配給	劇場での売上	映像配信	物販等※3
国内売上	—	映画営業※1	映画興行	—	IP・アニメ
海外売上	—	—	—	—	

②「国宝」

	作品製作(出資配分金)	劇場への配給	劇場での売上	映像配信	物販等※3
国内売上	映画営業	映画営業	映画興行	—	IP・アニメ
海外売上	IP・アニメ※2	—	—	IP・アニメ※2	

注:表において無いものは「-(バー)」としている

※1: 株式会社アニプレックスとの共同配給 ※2: GKIDS, INC.が北米配給・配信を担う分はIP・アニメ事業に計上 ※3:パンフレット等の売上

IP・アニメ事業

中期経営計画の内容と進捗状況

- 良質なコンテンツ・IPを数多く製作し、世界へ展開するために、人員増による体制の拡充と制作スタジオ機能の強化を図ります。
- 成長領域である海外とゲームの収益をさらに伸長させ、IP・アニメ事業の営業利益を200%*1以上にします。

*1 2025年2月期対比

Point 1

製作の強化

- TOHO animationの企画・製作・宣伝体制と東宝グループの制作スタジオ機能の增强により、良質なコンテンツ・IPの増産

TOHO animation
2032年目標



Point 2

海外の強化

- 海外拠点を拡充し、各地域のライセンス機能を強化することで、海外でのコンテンツ・IP運用の内製化を図る

Point 3

ファンビジネスの追求

- ECプラットフォームの拡充、新会員サービスとの連携、コラボカフェの展開等、お客様と直接つながるファンビジネスを推進

Point 4

ゲーム開発の促進

- ゴジラや自社アニメのヒットIPに狙いを絞ってゲーム開発・展開を促進

進捗状況

Point1 製作の強化

- 2029年2月期に約20クールの見込み
- TOHO animationの人員数70名(2025年11月末時点)

Point2 海外の強化

- 欧州地域へのIP展開に向けた欧州統括会社を設立
- TOHO GlobalはPLAION PICTURESからのAnime Ltdの取得と戦略的提携に合意(詳細はP.7)
- アジア・北米・欧州、世界の主要地域すべてにおける拠点の設置が完了

Point3 ファンビジネスの追求

- 映画・演劇・物販など当社グループの顧客IDを統合した新会員サービス「TOHO-ONE®」を2026年3月に開始予定(詳細はP.8)

Point4 ゲーム開発の促進

- 天穗のサクナヒメ、2026年2月ローンチ予定
- スマートフォン・PC向け新作RPG「怪獣8号 THE GAME」を、iOS/Android 向けに25年8月に全世界同時リリース
 - 配信1ヶ月で全世界ダウンロード数が500万を突破
 - 10月1日よりPC(Steam)版をリリース

IP・アニメ事業の成長加速に向けた新会社を設立

(2025年12月公表)

フィギュア・玩具の企画・製造から物流・販売までを一貫して手掛ける株式会社グッドスマイルカンパニーと、合弁会社「To-Smile株式会社」を設立。To-Smile社を通じて、東宝グループ全体のMD事業の収益性を高める



- To-Smile株式会社(資本金2.5億円、出資比率:東宝:60% グッドスマイルカンパニー:40%)は、TOHO animation作品やゴジラ等のIPの魅力を最大化するオリジナル玩具・フィギュア・グッズの展開を行う
- 当社の持つIPプロデュース力および劇場流通網と、グッドスマイルカンパニーの持つ高度な製造ノウハウおよびグローバルな販売ネットワークを融合
- 作品の世界観を忠実に再現したオリジナル商品を、TOHOシネマズ等の国内劇場販路はもとより、北米・アジアを中心とした世界市場へも迅速に展開

IP・アニメ事業

ゴジラ戦略(中期経営計画の内容と進捗状況)

ゴジラは「映像コンテンツビジネス」から「IPビジネス」へ——3年間で約150億円を投下し、マルチユースに展開。ゴジラのブランド価値を高め、新会員サービスとの連携によって、ファンともっとつながり、ファンをより一層拡げていきます。

商品 イベント	ライセンスの拡大、自社商品開発の拡大	
	アトラクション展開	より幅広い層へゴジラを体感させるアトラクション
店舗	「ゴジラ・ストア」拡大	新宿、心斎橋、梅田に続き、台場と渋谷に新店舗オープン
ゲーム デジタル	コンソールゲーム開発	大型投資による全世界のゲームファンを取り込むコンソールゲーム開発(予定)
	モバイルゲーム開発	ライトファンを取り込むモバイルゲーム開発(予定)
映像	映像コンテンツ開発	テレビ、配信等プラットフォームに拘らないコンテンツ開発
	劇場用映画	ゴジラ新作映画が監督・脚本・VFX 山崎貴で製作決定！

進捗状況
<u>商品イベント</u> <u>HANEDA GODZILLA GLOBAL PROJECT</u> が始動
• 2025年12月、羽田空港第3ターミナル3階出発ロビーに、全長約40m、高さ約9mの超巨大ゴジラが登場

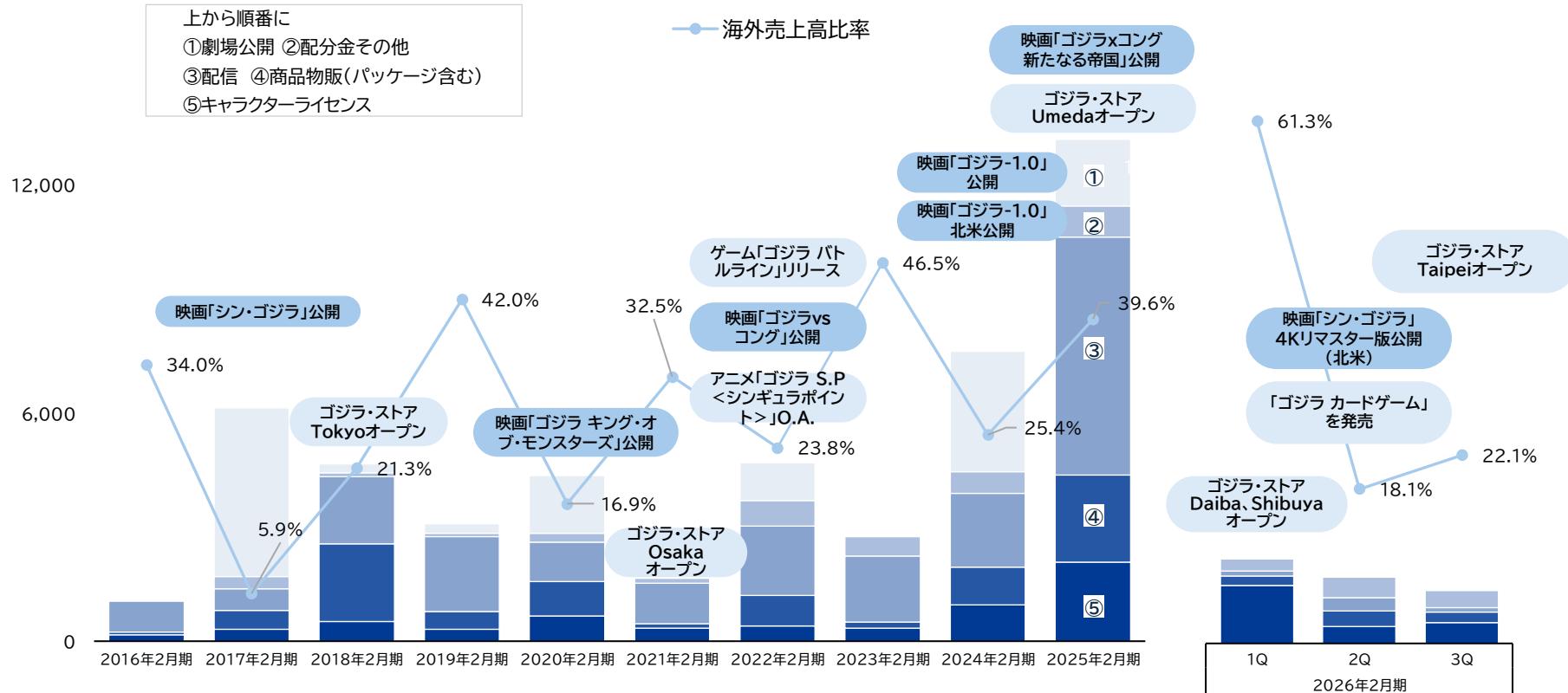
TM & © TOHO CO., LTD.
<u>店舗</u>
• 26年1月9日、「ゴジラ・ストア Malaysia」をマレーシアにオープン
• ゴジラ・ストアは国内5店舗、海外2店舗に
<u>映像</u>
• 「ゴジラ」新作アニメシリーズが制作決定(2025年12月公表)
• “ゴジラの力を宿す”少年が主人公というシリーズ初となるチャレンジ作

TM & © TOHO CO., LTD.

IP・アニメ事業

ゴジラシリーズ ソース別営業収入実績の推移

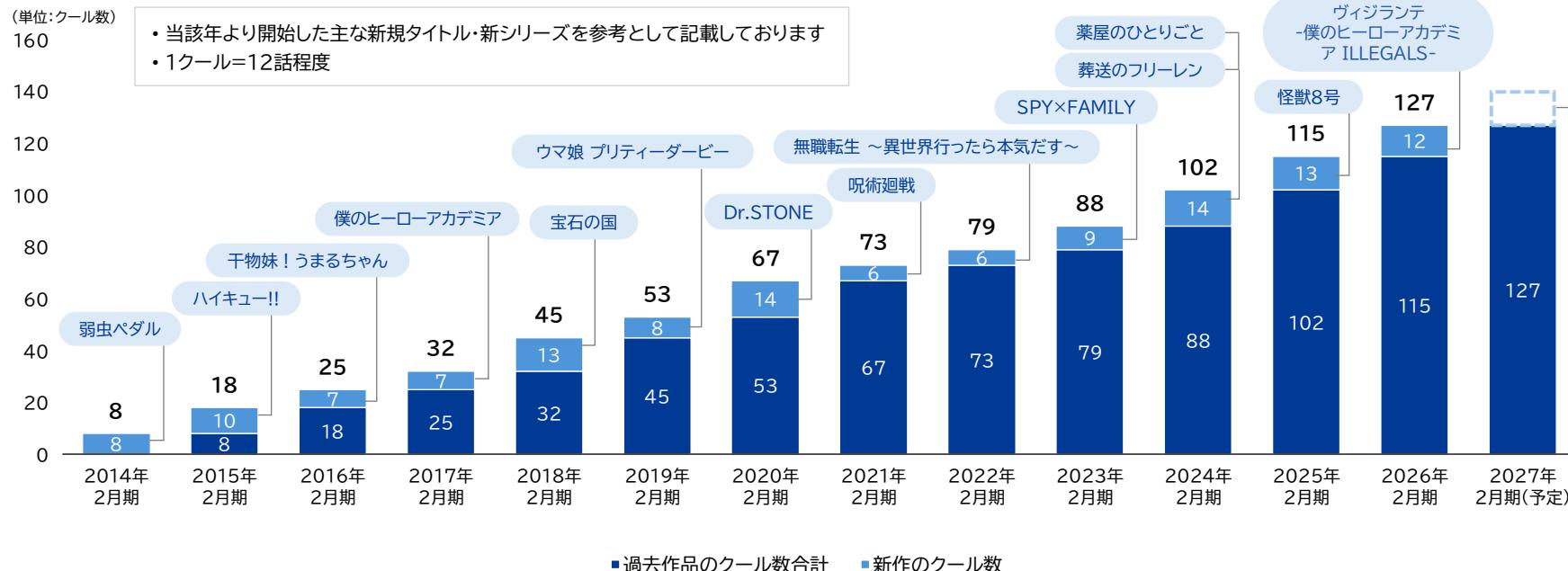
(単位:百万円)



IP・アニメ事業

TOHO animation クール数の積み上がり

- 新規のテレビアニメや新シリーズの追加によって収益源となるIP数を積み上げるとともにコンテンツの長寿化を図り、継続的かつ安定的なビジネスモデルを構築
- 2027~2029年に公開・放送予定の新作IPも企画開発中
- 2029年2月期には新作が約20クール/年の見込み

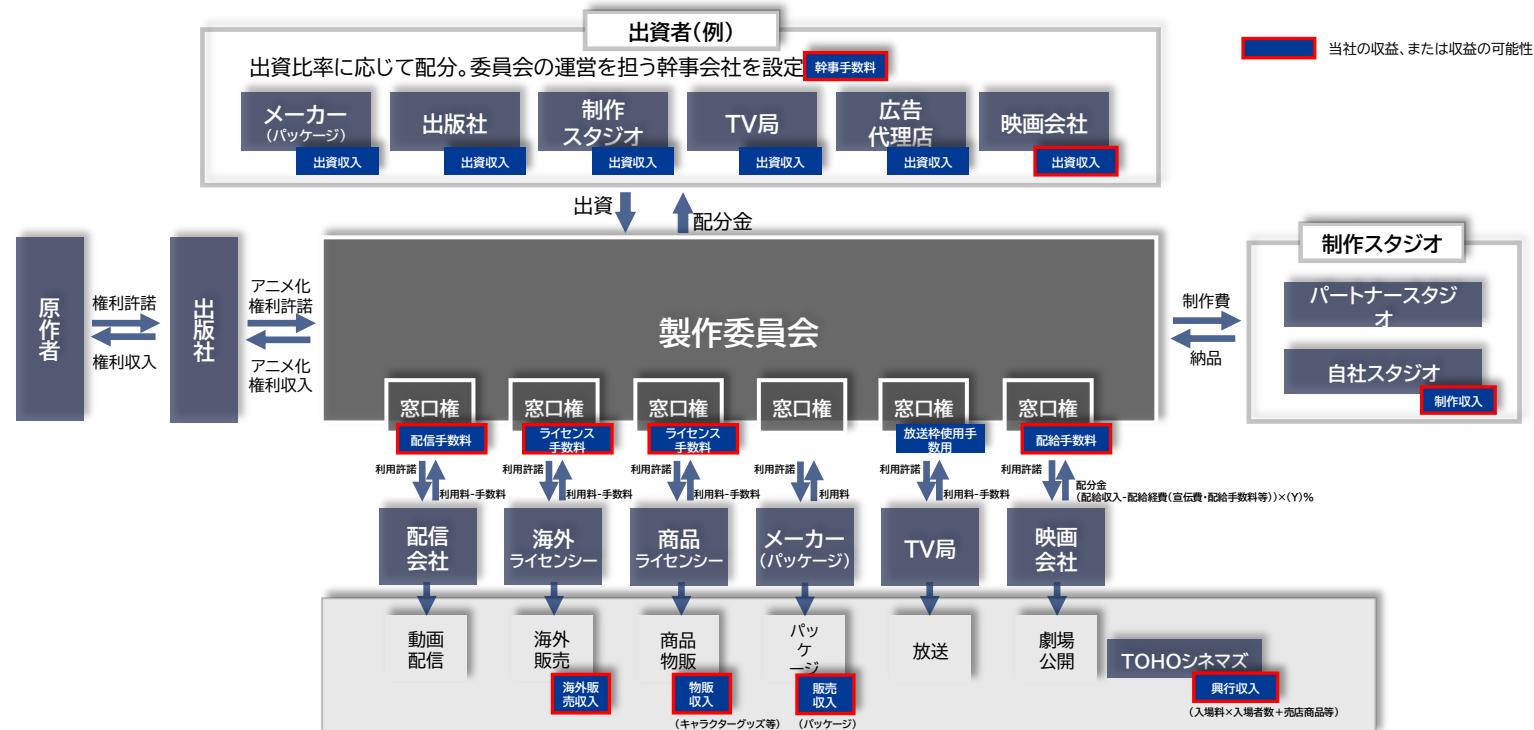


IP・アニメ事業

アニメ製作委員会の仕組みと当社の関わり

(2024年12月「アニメ事業機関投資家向け説明会資料」の再掲)

- ・製作委員会:各領域で二次利用展開を進め、ファンの皆さまへ作品を多面的・重層的・長期的に届ける
 - ・当社:映画化・商品販売・海外展開などファンの皆さまへ広く価値提供が可能。各領域でIP価値を最大化できる



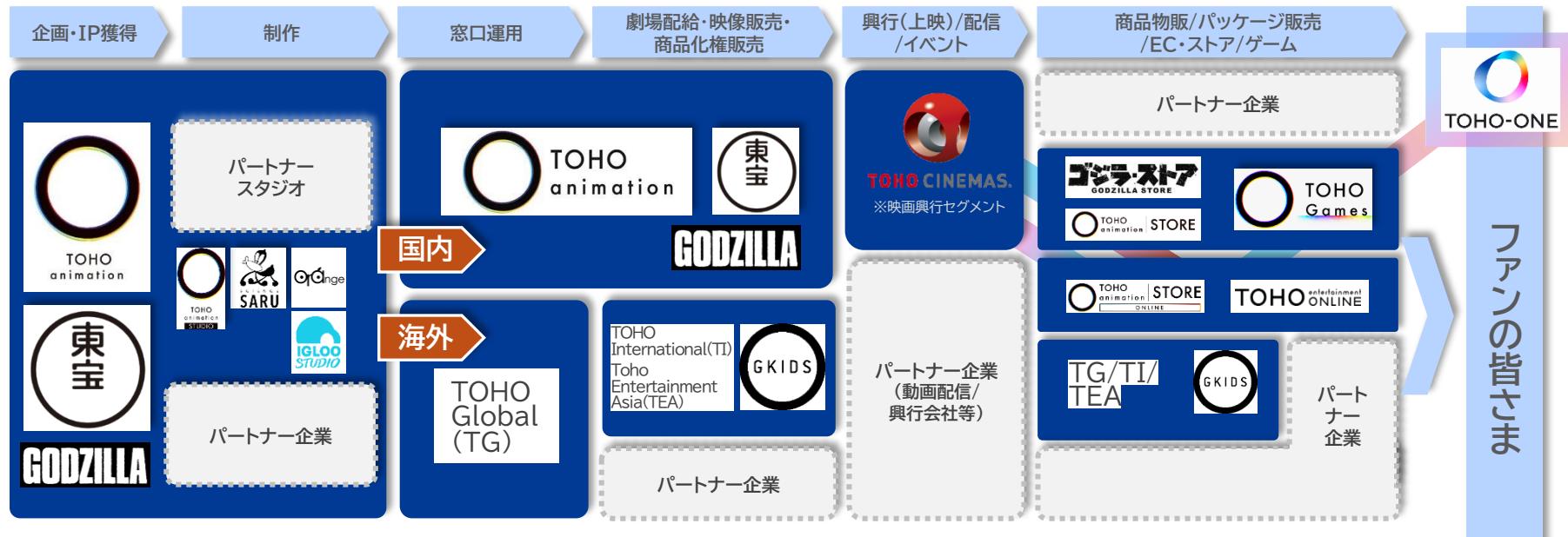
IP・アニメ事業

IP・アニメ事業の商流: 詳細

(2025年12月「IP・事業機関投資家向け説明会資料」を一部更新)

東宝グループ、パートナー企業と共に、各領域でIP価値を最大化する

当社グループが担う領域



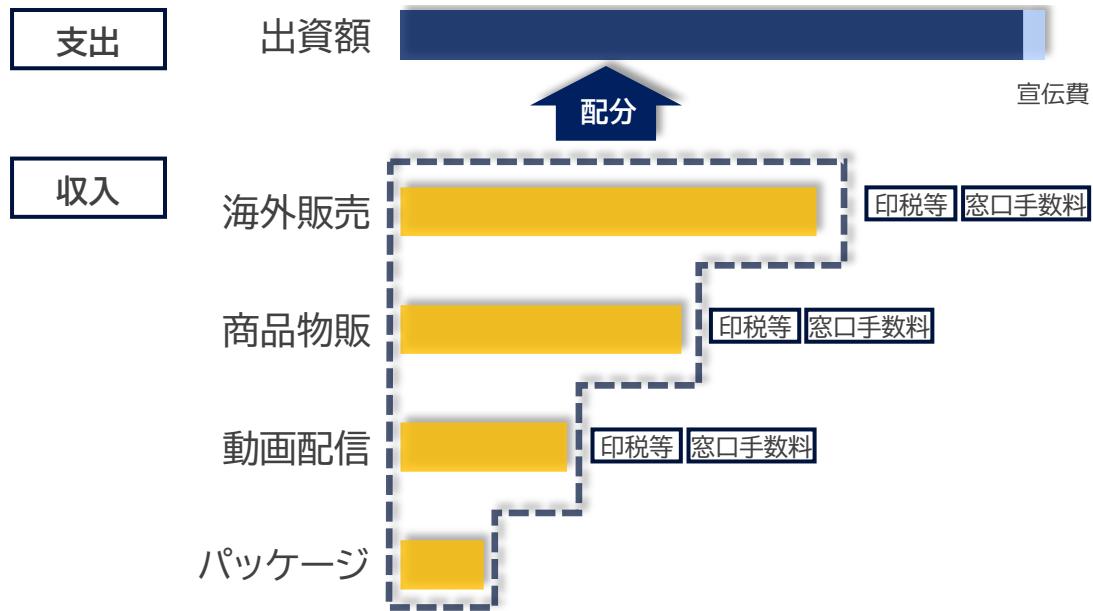
2026/2期3Q(3~11月) IP・アニメ事業の収益分解情報 (2026年2月期第3四半期決算短信p.13より)

	金額(百万円)	構成要素
映像の利用・許諾	24,822	映像販売、製作出資収入、Toho InternationalやGKIDSの収入
商品化権等の利用・許諾	11,735	商品化権収入
商品の販売	13,915	パッケージ(DVD)、グッズ、パンフレット、ゴジラ・ストア、ECサイトの収入
その他	5,319	アニメ制作収入(サイエンスSARU等)、ゲーム、音楽
合計(外部顧客への売上)	55,792	

※TOHO-ONEからの収益はIP・アニメ事業に含まれない。

アニメ製作委員会の収支構造(イメージ)

(2024年12月「アニメ事業機関投資家向け説明会資料」の再掲)



- 製作委員会は二次利用展開が重要。各窓口収入の委員会戻し分[■]を積み上げ、委員会として出資額の回収を目指す
- 出資会社が窓口を持つ場合は、窓口手数料を得ることができる

IP・アニメ事業

IP・アニメ事業セグメント: 事業別

(2025年4月「決算説明資料」の再掲)

2026年2月期より、「映画営業事業」「映像事業」からIPビジネス及びアニメ関連ビジネスを抽出し「IP・アニメ事業」を報告セグメントとして独立

【変更前】

報告セグメント
映画事業
映画営業事業
映画興行事業
映像事業
演劇事業
不動産事業
その他

【変更後】

報告セグメント	主な事業内容
映画事業	
映画営業事業	映画の企画・製作・配給事業
映画興行事業	映画館の経営に関する事業
映像事業	その他の映像制作、美術製作、広告事業
IP・アニメ事業	TOHO animationの企画・製作・権利利用、ゴジラのライセンス事業
演劇事業	演劇の製作・興行事業
不動産事業	不動産賃貸、道路、不動産保守・管理事業
その他	スポーツ施設等の経営、物販業等

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントです。

IP・アニメ事業

IP・アニメ事業セグメント: 子会社別の変更前・後

(2025年4月「決算説明資料」の再掲)

連結子会社を会社単位で切り分け、一部の「映画事業」の組織・子会社を「IP・アニメ事業」へ



(注)

- 上記子会社の傘下にある子会社を含む。表示スペースの都合上、複数の会社をまとめて記載しているが、特定の基準や意図に基づくものでは無い
 - 2025年2月期の映画事業セグメントの営業収入の約3割、セグメント利益の約4割がそれぞれ「IP・アニメ事業」に移行
 - 「IP・アニメ事業」に占めるゴジラ関係の営業収入は1割強(2025年2月期実績からの試算値で、主にIPや商品販売、北米での劇場配給。なお、映像配信の営業収入は映画営業事業に計上される)
- *1:TOHO Global株、Toho International, Inc.、TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.、GKIDS, INC.
 *2:株東宝映像美術、株東宝コスチューム、東宝舞台株、TOHOマーケティング株、株エイド・ディーシーシー、株ガイエ

IP・アニメ事業

IP・アニメ事業セグメント：作品の商流別計上先

(2025年4月「決算説明資料」の再掲)

主な作品の商流別計上先は以下の通り。ゴジラとアニメ関係の一部営業収入は引き続き映画事業セグメント（映画営業/映画興行）に計上する

①「ゴジラ」映画シリーズ^{※1}

	作品製作(出資配分金)	劇場への配給	劇場での売上	映像配信	ライセンス・物販等 ^{※2}
国内売上	映画営業	映画営業	映画興行	映画営業	
海外売上		IP・アニメ ^{※3}	— ^{※4}	IP・アニメ ^{※3}	IP・アニメ

映画「ゴジラ-1.0」の配信権収入は「映画営業」に計上

②TOHO animation作品・サイエンスSARU出資作品

	作品製作(出資配分金)	劇場への配給	劇場での売上	映像配信	ライセンス・物販等 ^{※2}
国内売上	IP・アニメ	映画営業	映画興行	IP・アニメ ^{※3}	
海外売上		IP・アニメ ^{※3}	— ^{※4}	IP・アニメ ^{※3}	IP・アニメ

③当社配給のアニメ映画作品(例：映画「名探偵コナン」シリーズ、映画「ドラえもん」シリーズ)

	作品製作(出資配分金)	劇場への配給	劇場での売上	映像配信	ライセンス・物販等 ^{※2}
国内売上	— ^{※5}	映画営業	映画興行	— ^{※6}	
海外売上		— ^{※3,※7}	— ^{※5}	— ^{※3}	IP・アニメ

注：表において、営業収入が寡少、または無いものは「－(バー)」としている

※1：①は「ゴジラ」シリーズを含む東宝大怪獣シリーズ作品 ※2：ゴジラキャラクターのIP利用や、ゲーム、音楽、パッケージ、パンフレット等を含む ※3：Toho International, Inc.及びGKIDS, INC.に許諾する作品は「IP・アニメ」に計上する。但し、TOHO Global株、TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.に業務委託したものは「映画営業」に計上する ※4:①～③いずれも海外における興行・ストアの売上収益は無い。

※5: ③において、東宝映画営業部が一部のアニメ映画作品に出資をしており、その関連収支は「映画営業」に計上する ※6: ③において国内で映像配信をする作品は多くないが、営業収入が発生した場合は「映画

営業」に計上する ※7: ③において一部のアニメ映画作品を海外向けに配給しており、その営業収入は原則として「※3」に基づき計上する

IP・アニメ事業セグメントに含まれる 東宝(株)の組織・子会社と事業内容

(2025年7月「決算説明資料」の再掲)

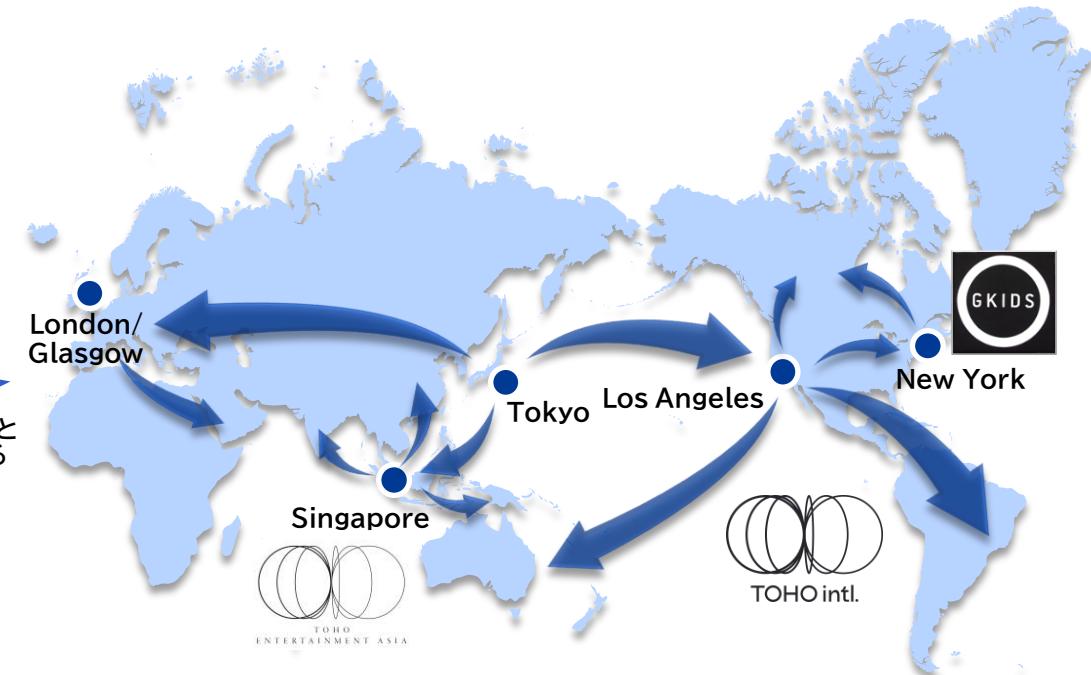
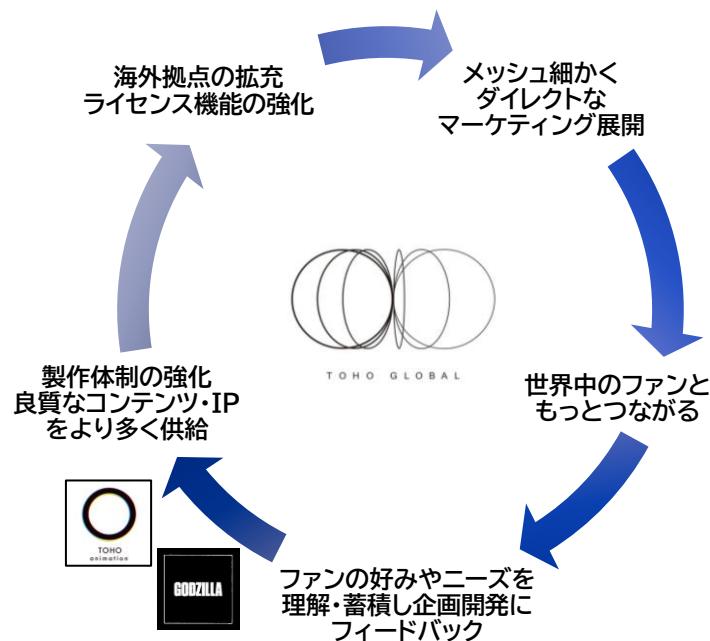
IP・アニメ事業セグメントに 含まれる組織・子会社名	決算期	地域※1		主な事業内容	留意点※2
		国内	海外		
東宝(株) TOHO animation	2月	✓	✓	TOHO animation作品の配信権・海外商品化権の販売、ゲーム、製作出資	-
東宝(株) ライツ事業部	2月	✓	✓	商品化権やパッケージの販売、グッズ・パンフレットの制作、ゴジラ・ストアの店舗運営等	実写映画作品の商品化権やパッケージの販売、グッズ・パンフレットの制作も行う
TOHO Global (株)	12月	-	✓	配信権・商品化権の販売	実写映画の海外向け配信権・商品化権の販売も行う※3
Toho International, Inc.	12月	-	✓	ゴジラの配信権・商品化権の販売、ECサイト(ゴジラ・ストア、TOHO animation STORE)の運営等、及びTOHO animationから許諾を受けたアニメ作品の商品化権の販売	実写映画の製作・出資も行う
TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.	12月	-	✓	配信権・商品化権の販売	実写映画の海外向け配信権・商品化権の販売も行う※3
GKIDS, INC.	12月	-	✓	アニメ映画の北米配給、配信権・パッケージ化権等の販売	TOHO animation・ゴジラ作品以外の作品の北米配給、配信権・パッケージ化権等の販売も行う
(株)TOHO animation Studio	2月	✓	✓	アニメ制作	-
(株)サイエンスSARU	1月	✓	✓	アニメ制作、製作出資	TOHO animation作品を除くアニメ作品の制作、製作出資も行う
(株)東宝ステラ	2月	✓	-	ECサイト(TOHO animation STORE、ゴジラ・ストア)の運営	実写映画のグッズも扱うECサイト(例:TOHO theater STORE)も運営する
東宝ミュージック(株)	2月	✓	✓	映画やアニメの劇伴音楽(サウンドトラック)の制作・著作権管理	舞台音楽制作や実写映画音楽の制作・著作権利用も行う

※1: 2025年2月期における営業収入の計上実績 ※2:留意点に記載の内容もIP・アニメ事業セグメントの外部顧客への営業収入に計上される(但し、※3を除く) ※3:東宝(株)からの手数料收入を計上しているため、外部顧客への営業収入は無い

IP・アニメ事業

海外戦略

海外拠点を拡充し、世界中のお客様により多くの良質なコンテンツ・IPを広く届け、世界中のファンとダイレクトにつながる——2032年には海外売上高比率を30%まで引き上げることを目指します。



海外各地域の取り組み

アジア

Toho Entertainment Asia

- 常設店「ゴジラ・ストア Malaysia」をマレーシアにオープン(25年12月)
- 海外初の常設店となる「ゴジラ・ストア Taipei」を台北にオープン(25年9月)
- 中国本土における「ゴジラ」IPライセンス事業推進に向けてSCLAと戦略的パートナーシップを締結(25年7月)

IGLOO STUDIO

- 新作「ゴジラ」アニメシリーズを TOHO Animation、オレンジとタッグを組んで制作(25年12月)
- ゴジラ誕生70周年記念のコレクターズアイテム「FIVE LEGACIES」を同社ECサイトで販売(25年10月)

ヨーロッパ

TOHO Europe Limited

- Anime Ltdの株式を取得。本取得により、英国およびフランスにおける事業機能が強化(26年1月)
- 戦略的提携を行ったPLAION PICTURESは、英国およびフランス以外の欧州地域における、東宝作品の配給・配信等の機能を拡張



北米

GKIDS, INC.

北米で公開した劇場版「呪術廻戦」「渋谷事変 特別編集版」「死滅回遊」がヒット。日本国内の興収と合わせて、全世界興収65億円を突破(26年1月9日時点)

- 「国宝」は26年2月6日より北米上映開始(25年12月)

- HBO MAXと日本アニメ・実写映画20作品の独占配信契約を締結(25年8月)

Toho International, Inc.

- TOHO animation作品の各種商品を取り扱う「TOHO animation STORE」の運営を開始(25年6月)

IP・アニメ事業

海外の主なグループ会社

**TOHO Global株式会社
(東京)**

- ・海外事業統括会社
- ・北米エリアを皮切りにアジアを含め全世界に、アニメ・実写作品等の配給・配信・商品化のライセンスを行う
- ・従業員数54名(25年11月)

100%保有

100%保有

100%保有

**TOHO Europe Limited
(ロンドン)**

- ・欧州地域の統括会社

**TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.
(シンガポール)**

- ・アジア統括会社
- ・アジア地域における当社グループの拠点として、IP・映像作品のライセンス事業、商品事業、マーケティング等を広く展開
- ・従業員数16名(25年11月)

**Toho International, Inc.
(ロサンゼルス)**

- ・米州の地域統括会社
- ・米国におけるライセンシングを管理し、トップブランドと提携してコレクターズアイテムやアパレル等を制作
- ・従業員数31名(25年11月)

100%保有

32%保有

25%保有

100%保有

**Anime Limited
(グラスゴー)**

- ・英国を拠点とする配給会社
- ・従業員数13名(25年12月)

**IGLOO STUDIO CO., LTD.
(バンコク)**

- ・バンコクにあるCGアニメーション制作スタジオ
- ・従業員数174名(25年11月)

**CJ ENM FIFTH
SEASON LLC
(ロサンゼルス)**

- ・テレビシリーズ、映画、ドキュメンタリーの企画・製作、販売を行うエンタテイメント企業
- ・従業員数180名(25年11月)

**GKIDS, INC.
(ニューヨーク)**

- ・北米を代表するアニメ作品の配給会社
- ・従業員数46名(25年11月)

演劇事業

中期経営計画の内容と進捗状況

- 外部劇場での主催公演、新会員サービス、多様なチケット価格や販売形態の多角化により帝劇休館中の興行収入を底支えしていきます。
- 既存人気作品の価値最大化、オリジナル作品開発、海外展開により、東宝演劇のブランド力を高め、新・帝国劇場へとつなげていきます。

Point
1

東宝演劇ブランドの継承とさらなる飛躍

- 帝劇休館中も外部の劇場を活用して公演回数を確保
- 既存人気作品を時代にあわせたキャスティングや演出により定期的に上演するとともに、良質なオリジナル作品の開発・上演にも注力

Point
2

興行力強化のためのマーケティング施策

- 新会員サービスでお客様の満足度を最大化し、観客増を図る
- 多様なチケット価格と販売形態の多角化により興行収入を底支え
- 配信、キャラクターグッズ開発等、演劇作品のマルチユース展開

Point
3

海外でのプレゼンス向上と作品調達力の強化

- 舞台「千と千尋の神隠し」海外公演を継続し、他作品の海外ライセンス公演も積極的に展開
- 海外プロデュース作品に対して戦略的に投資することで、国内上演権を優先的に確保し、最高のラインナップを編成



進捗状況

Point1 東宝演劇ブランドの継承とさらなる飛躍

- 東宝演劇では初の試みとなる、海外キャストによる「レ・ミゼラブル」ワールドツアースペクタキュラーの日本ツアーを招聘・製作
- 25年秋に東急シアターオーブで上演したミュージカル「エリザベート」等、外部劇場での帝劇作品上演も好調に推移

Point2 興行強化のためのマーケティング施策

- ポイントプログラムを備えた新しいチケッティングサービス、TOHO-ONEの26年3月ローンチ予定と発表

Point3 海外でのプレゼンス向上と作品調達力の強化

- 2023年にシアタークリエで上演したミュージカル「のだめカンタービレ」をシンフォニックコンサートとして台湾および東京ガーデンシアターで上演

不動産事業

中期経営計画の内容と進捗状況

- 中長期的な収益基盤の維持を図りつつ、資産効率の向上を目指します。

Point
1

既存物件の収益向上と物件ポートフォリオの見直し

- 既存物件は空室率の抑制とともに賃料アップに注力し、物件価値の向上を図る
- 中長期的な視点で物件ポートフォリオの見直しを図り、保有意義の低い物件については売却等の施策を検討・実施する

Point
2

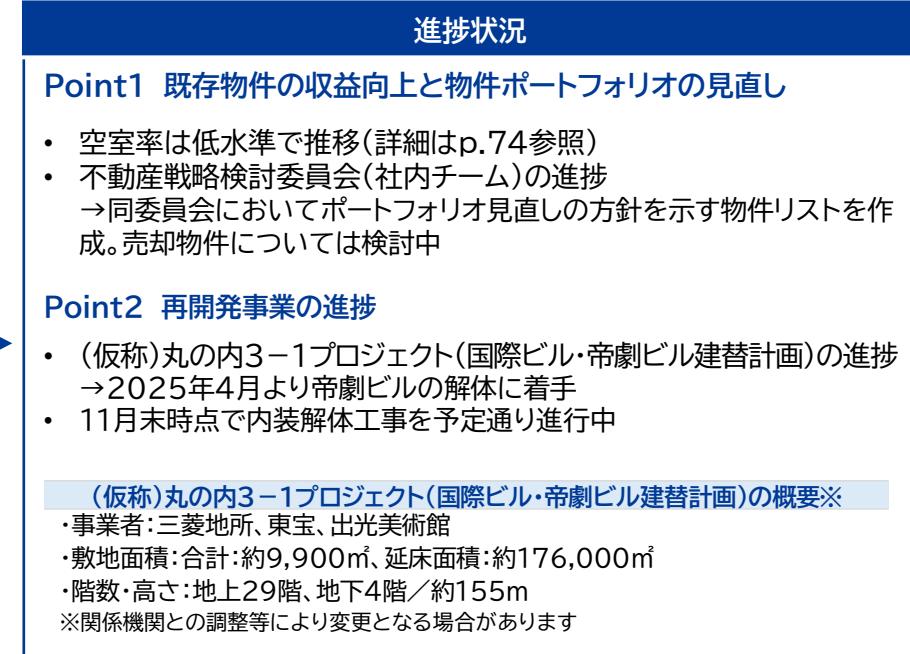
再開発事業の推進

- 「帝劇ビル」の再開発事業を着実に推進する
- その他の案件はエンタテインメントとのシナジーや投資採算性を精査のうえ、慎重に進める

Point
3

新規物件取得の抑制

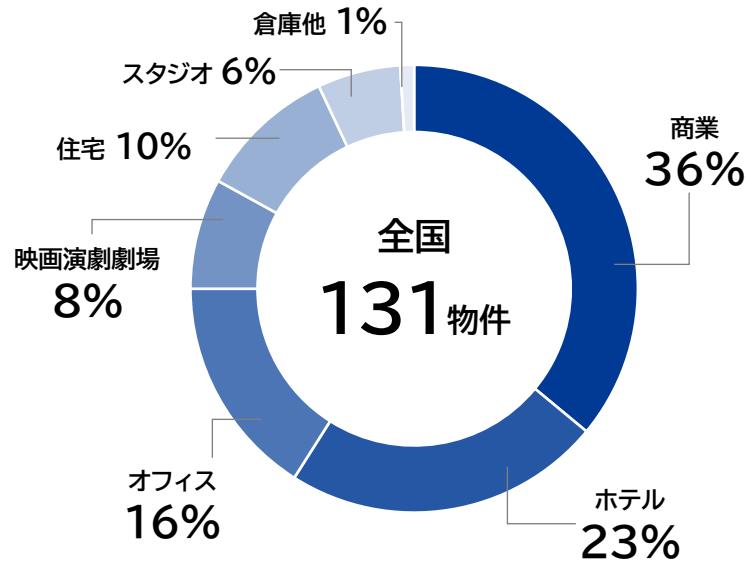
- 物件価格の高止まりや資産効率重視の観点から前中計の方針を見直し、新規物件の取得は抑制する



中長期的な収益基盤の維持を図りつつ、資産効率の向上を目指す

当社保有主要物件	主な用途
【東京都】61件	
東宝日比谷ビル	映画館、オフィス、商業
東宝日比谷プロムナードビル	オフィス、商業
東京宝塚ビル	演劇劇場、映画館、オフィス
帝劇ビル	(共同再開発中)
東宝シアタークリエビル	演劇劇場、ホテル
有楽町センタービル(有楽町マリオン)	商業
渋谷シネマタワー	映画館、オフィス、商業
新宿東宝ビル	映画館、ホテル、商業
東宝スタジオ	スタジオ
【大阪府】10件	
HEPナビオ	映画館、商業
東宝南街ビル	映画館、商業
【愛知県】4件	
エンゼルビル	商業
【その他】56件	

当社保有物件のポートフォリオ(賃貸部分の面積比率)



エンタテインメントとのシナジーの代表例

(2025年10月「決算説明資料」の再掲)



新宿東宝ビル(東京)
用途:映画館、ホテル、商業



東京宝塚ビル(東京)
用途:演劇劇場、映画館、オフィス



東宝シアタークリエビル
(東京)
用途:演劇劇場、ホテル



新・帝国劇場(東京)(共同再開発中)
用途:演劇劇場、美術館、オフィス、商業



東宝日比谷ビル(東京)
用途:映画館、オフィス、商業



渋東シネタワー(東京)
用途:映画館、オフィス、商業



HEPナビオ(大阪)
用途:映画館、商業



東宝南街ビル(大阪)
用途:映画館、商業

不動産事業

当社賃貸用不動産 空室率の推移

空室率は低水準で推移

3%

2%

1%

0%

0%



Appendix 4 コーポレート

東宝グループとは

企業理念

Moments for Life

その時間が、人生の力になる。

GROUP PURPOSE

心を振り動かし、人生の力となる時間を届け、人々の幸福に貢献する

GROUP VALUE

朗らかに、清く正しく美しく

GROUP SPIRIT

「健全な娯楽を広く大衆に提供すること」
「我々の享くる幸福はお客様の賜ものなり」

事業ポートフォリオ

映画事業

映画営業: 映画作品の企画・製作及び映像配信をはじめとする権利活用
映画興行: 全国に展開するシネマコンプレックス「TOHOシネマズ」の経営
映像関連事業: その他の映像制作、美術製作、広告事業

IP・アニメ事業

TOHO animation作品の企画・製作・権利活用、
「ゴジラ」のライセンス事業

演劇事業

演劇の製作・興行及び芸能プロダクションの経営

不動産事業

不動産賃貸: オフィスビルや商業施設等の賃貸を主体とする不動産業
道路: 連結子会社のスバル興業(株)が道路の維持管理・清掃等を展開
不動産保守・管理: ビル等の清掃・設備管理・警備等のビルメンテナンス事業を展開

TOHO at a glance

営業収入
3,131億円 (25/2期)

営業利益率
20.7% (25/2期)

ROE
9.3% (25/2期)

グループ会社数
57社 (25年11月時点)

従業員数 (連結)
3,873名 (25/2期)

年間興行収入
1,000億円 を突破 (当社グループ 配給作品)

年間製作本数
27本 (主幹事作品8本) (25/2期)

年間動員数
38,399千人 (25/2期)

IP・アニメ事業
ゴジラ生誕 72年 (1954年1作目 公開)

アニメ クール数の 総数
115クール※1 (25/2期)

演劇事業
年間動員数 1,147 千人※2 (25/2期)

不動産事業
東宝(株) 保有物件数 131物件 (25/2期)

※1 1クール=12話程度

※2 当社主催・共催公演のみ

中期経営計画2028の指針

(2025年4月「中期経営計画2028」の再掲)

映画「ゴジラ-1.0」の米国アカデミー賞受賞。アニメ「呪術廻戦」の全世界的大ヒット。

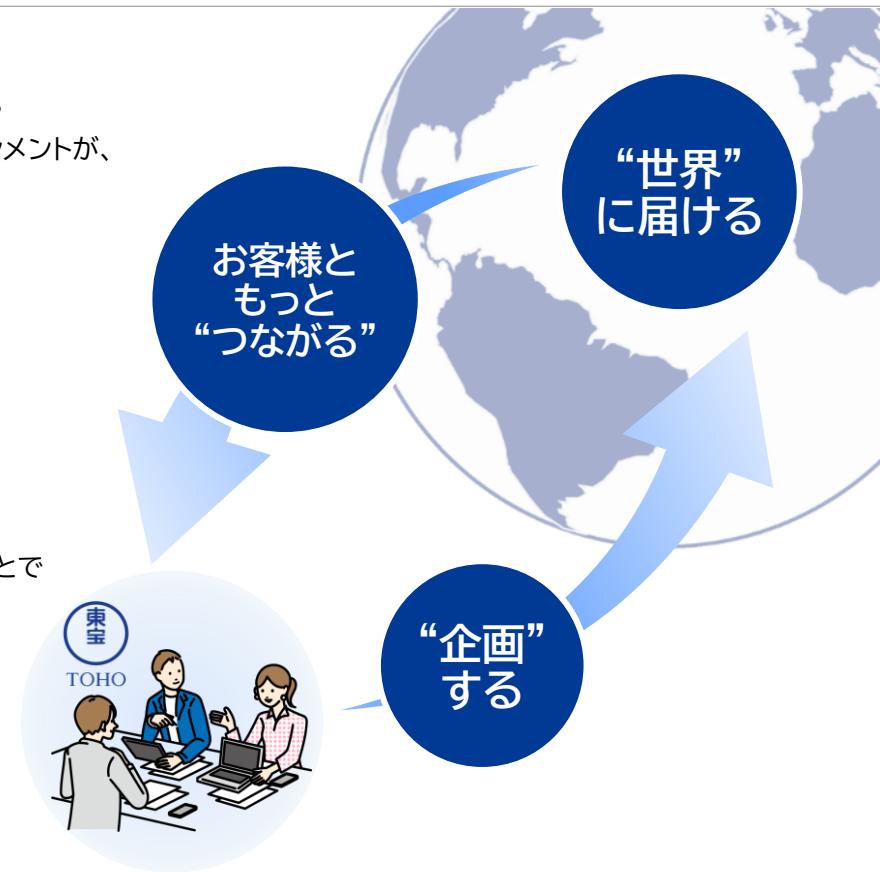
舞台「千と千尋の神隠し」連日満席のロンドン公演。私たちの生み出したエンタテインメントが、世界中のお客様の心を動かすことができるという自信と確信を得た3年間でした。

“人”が、情熱を傾けて“企画”をし、エンタテインメントを創り、“世界”に届ける——これが、どんなに外部環境が変化したとしても、私たちの変わることのないシンプルで本質的な価値創造ストーリーです。

加えて、私たちがより持続的に成長していくためには、エンタテインメントを単に広く届けるだけではなく、世界中のお客様の好みやニーズを深く知り、お客様ともっと積極的に“つながる”ことでファンになっていただくことが大切になると考えています。

“人”、“企画”、“世界”、そして、お客様ともっと“つながる”

これを中期経営計画2028の指針として、私たち東宝グループは世界中のファンから愛されるエンタテインメント企業を目指して邁進していきます。



中期経営計画2028の重点ポイント

(2025年4月「中期経営計画2028」の再掲)

人材

- ・ 少数精鋭から**精銳多数**への転換
——成長の源泉である“人”を3年間で約**200**名採用^{*1}、人への投資とエンゲージメント向上に注力

*1 東宝株式会社を対象としたもの

コンテンツ IP

- ・ 約**200**タイトルの豊富で良質なエンタテインメントを提供、世界中のお客様に感動を届ける
- ・ 映画・アニメ・演劇・ゲーム等のコンテンツの企画・製作、IP創出に対し、3年間で約**700**億円を投下
- ・ ゴジラIPの開発・展開に対し、3年間で約**150**億円を投下、IPビジネスを本格的に強化する
- ・ コンテンツ・IP領域のM&Aやシネコン出店等の成長投資として3年間で**1,200**億円程度を設定
- ・ 2032年までにTOHO animationの人員を倍増、IP・アニメ事業の営業利益**200%**^{*2}以上を目指す

*2 新セグメントにおける営業利益(2025年2月期対比)

デジタル

- ・ 東宝グループの顧客データ基盤を整備する **TOHO-ONE** プロジェクトに対し、約**50**億円を投資
——2026年春、お客様と一つにつながる“新しい会員サービス”ローンチ予定

海外

- ・ 海外拠点の拡充を加速するとともに、新たにグループインした企業とのシナジーを創出
- ・ 2032年に向けて海外売上高比率を現状の10%程度から**30%**まで引き上げる

中期経営計画2028の数値目標

(2025年4月「中期経営計画2028」の再掲)

営業利益・株主還元・ROEの各数値目標は、前中計期間から引き上げます。
また、長期ビジョン2032で掲げたROEの目標(8~10%程度)を引き上げ、恒常に10%以上とします。



中期経営計画2028のキャピタルアロケーション

(2025年4月「中期経営計画2028」の再掲)

むこう3年間は、営業キャッシュフローに加え、借入・社債発行等の資金調達、政策保有株式や保有不動産の売却も検討・実施し、成長投資と株主還元に充当していく方針とします。



※ 2025年7月3日に500億円を上限とする社債の発行登録枠を設定

株式の状況

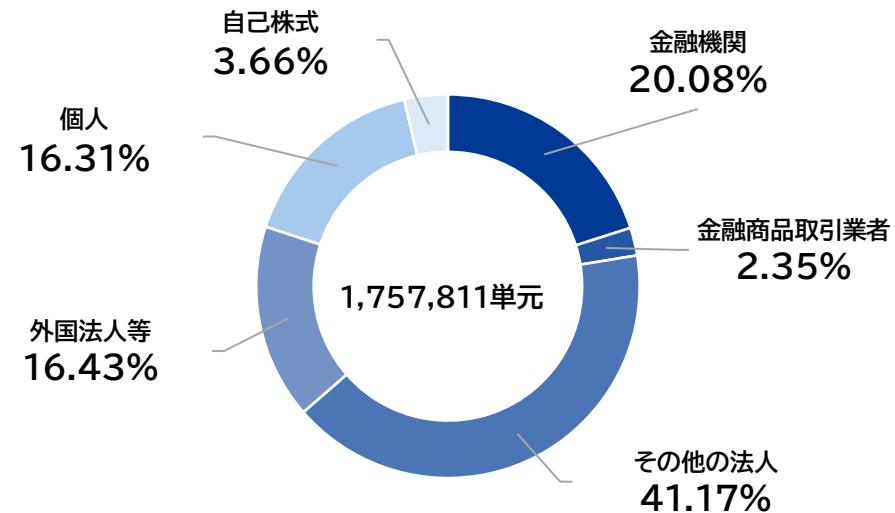
大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する 所有株式数の割合(%)
阪急阪神ホールディングス株式会社	22,807	13.45%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18,615	10.97%
阪急阪神不動産株式会社	15,150	8.93%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10,004	5.90%
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	8,797	5.18%
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	4,940	2.91%
株式会社TBSテレビ	4,521	2.66%
株式会社竹中工務店	3,785	2.23%
株式会社丸井グループ	2,578	1.52%
STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234(常任代理人株式会社みず ほ銀行決済営業部)	2,430	1.43%

※ 株式数は千株未満、株式の割合は小数点2位未満切り捨ての数字

※ 当社所有の自己株式は6,428,271株

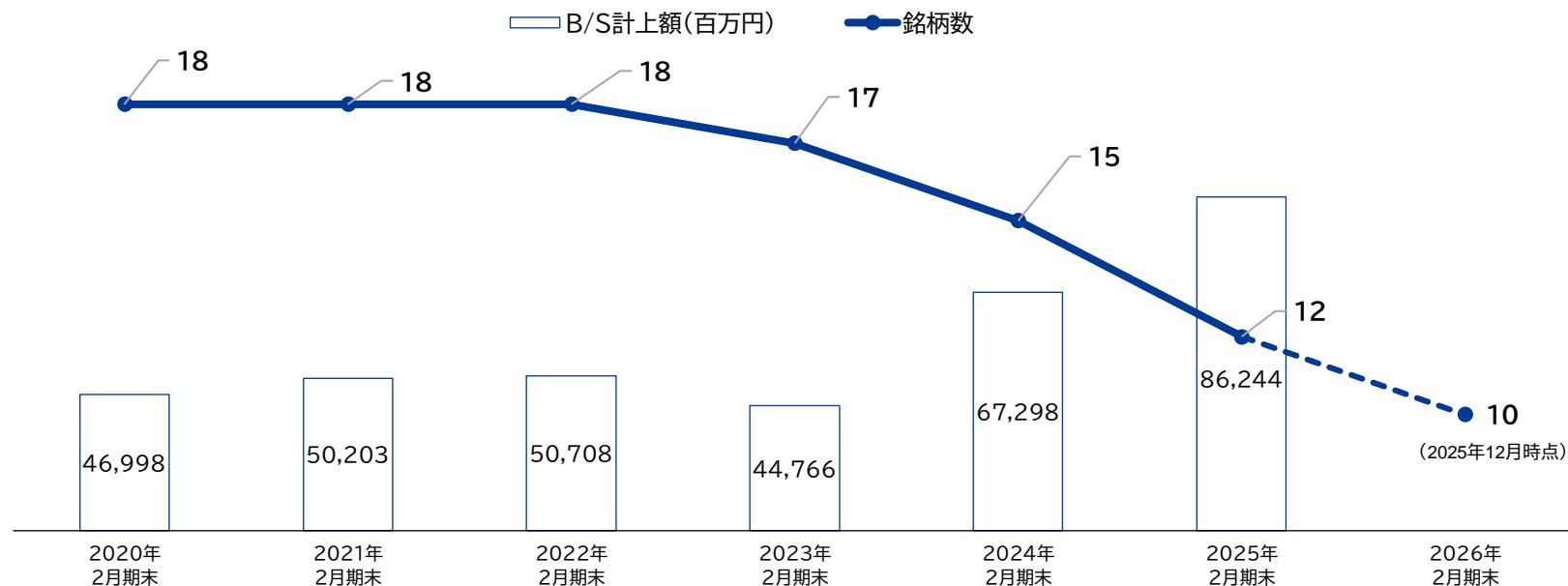
所有者別状況(単元)



※単元株式に対する割合

政策保有株式のB/S計上額及び銘柄数の推移

2025年2月期は3銘柄の削減を実行。但し、B/S計上額は保有先の株価上昇等により増加
2025年6月に1銘柄を売却、7月に1銘柄を売却

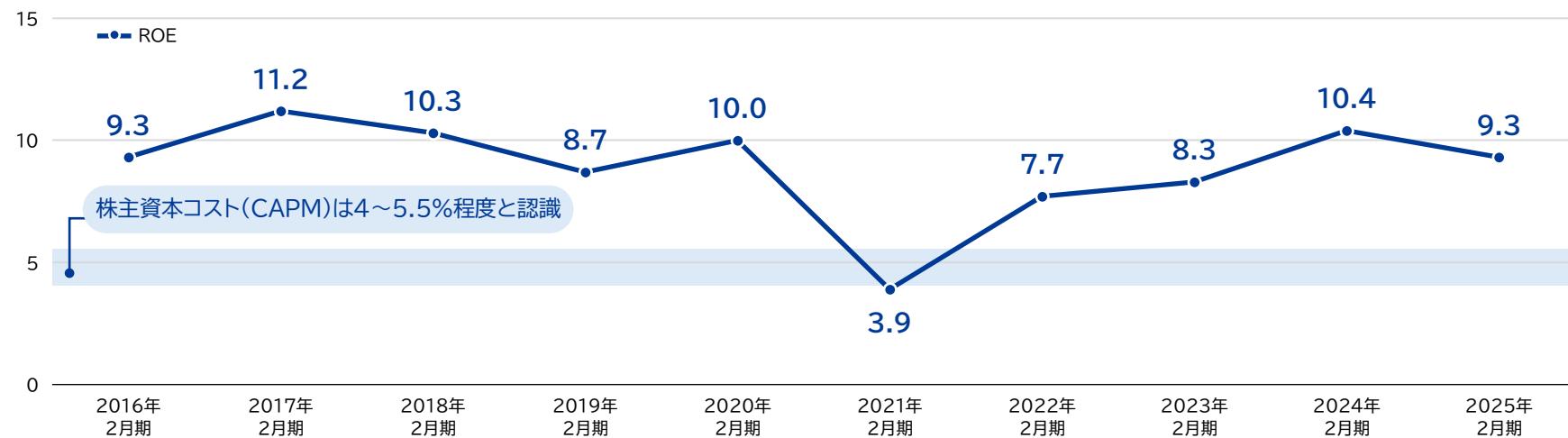


ROEの推移と株主資本コスト

- 当社の株主資本コスト(CAPM)^{※1}は4~5.5%程度^{※2}と認識
- 本数値と投資家が期待する数値には乖離があることも認識しており、今後は投資家との対話を通じて認識のすり合わせを進める

ROEと株主資本コスト(CAPM)との比較

(単位:%)



※1 当社の株主資本コストの前提(株式会社ブルータス・コンサルティングによる評価):リスクフリーレート(1.5%)、β値(0.40~0.70)、市場リスクプレミアム(6.0%)

※2 昨今の金利上昇等を考慮し、株主資本コスト(CAPM)の数値を変更(変更前:4~5%程度、変更後:4~5.5%程度)

主なプレスリリース

2025年3月～2026年1月14日

- 25/3/24 役員の異動に関するお知らせ
- 3/24 2025年2月期(第136期)配当予想の修正に関するお知らせ
- 4/14 「東宝グループ中期経営計画2028」策定に関するお知らせ
- 4/14 報告セグメントの変更に関するお知らせ
- 4/14 投資単位の引下げに関する考え方及び方針について
- 4/14 自己株式の消却に関するお知らせ(会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却)
- 4/14 支配株主等に関する事項について
- 4/14 業績連動型株式報酬制度の導入に関するお知らせ
- 4/30 自己株式の消却完了に関するお知らせ(会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却)
- 5/20 連結子会社の解散に関するお知らせ
- 5/29 役員人事に関するお知らせ
- 5/29 取締役及び執行役員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分に関するお知らせ
- 6/27 謾渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込完了に関するお知らせ
- 7/7 投資有価証券の売却に関するお知らせ
- 7/15 中国本土における「ゴジラ」IPライセンス事業推進に向けて、上海新創華文化發展有限公司(SCLA)と戦略的パートナーシップを締結
- 7/15 投資有価証券売却益(特別利益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ
- 9/16 剰余金の配当に関するお知らせ
- 9/18 ワーナー・ブラザース作品の日本国内向け劇場配給の合意及び営業業務の受託について
- 9/26 東宝とドルビーラボトリーズ、プレミアム映画制作のためのドルビービジョンおよびドルビーアトモス設備を開設
- 10/2 東宝グループ 企業理念体系を刷新
- 10/15 2026年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ
- 10/15 自己株式の取得および自己株式の公開買付けに関するお知らせ
- 11/7 自己株式の取得状況に関するお知らせ
- 11/14 自己株式の公開買付けの結果及び取得終了に関するお知らせ
- 12/10 株式会社グッドスマイルカンパニーとの合弁会社、To-Smile 株式会社の設立に関するお知らせ
- 12/19 特定子会社の異動に関するお知らせ
- 12/19 欧州地域へのIP展開に向けた欧州統括会社を設立～英国Anime Ltdの取得および独PLAION PICTURESとの戦略的提携に合意～
- 26/1/14 期末配当予想の修正に関するお知らせ
- 1/14 株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更ならびに株主優待制度の変更に関するお知らせ
- 1/14 連結子会社との会社分割(簡易吸収分割)に関するお知らせ(TOHOシネマズ)
- 1/14 連結子会社への会社分割(簡易吸収分割)に関するお知らせ(TOHO Global)

IRカレンダー

当社の主な開示・イベント	備考
2025年	
12/5 東宝スタジオ(成城)見学会	アナリスト向け
12/10 IP・アニメ事業説明会	機関投資家向け
2026年	
1/14 2026年2月期第3四半期 決算発表	—
4/14 2026年2月期 決算発表(予定)	—
4/15 2026年2月期 決算説明会(予定)	機関投資家、アナリスト向け
5月 定時株主総会	—
5月 2026年2月期 FACT BOOK 発行(予定)	—

(参考)参加予定の証券会社主催イベント

2月 国内カンファレンス(東京)

2月 国内カンファレンス(東京)

3月 国内カンファレンス(東京)

3月 国内カンファレンス(大阪)

IR活動の強化

機関投資家の皆様からの取材依頼は ir@toho.co.jpまでご連絡ください

開示の強化と対話の充実を図り、経営と資本市場をつなぐフィードバック・ループを確立する

資本市場の声を社内にフィードバック

社内フィードバック	回数・頻度
取締役会/経営会議	年5回(四半期毎・年度毎)
関係部署とIRの個別ミーティング	四半期毎



開示の強化

2025年12月、IP・アニメ事業説明会を実施

機関投資家向けプレゼンテーション資料をIRライブラリに公開
(参照:<https://www.toho.co.jp/company/ir/disclosure>)

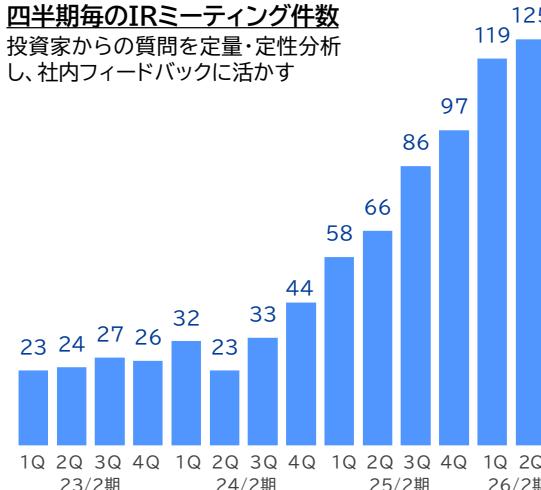


対話の充実

IRイベント	主な対応者
決算説明会	代表取締役社長、取締役副社長執行役員
事業説明会	担当執行役員
IRミーティング	取締役副社長執行役員、IRチーム

四半期毎のIRミーティング件数

投資家からの質問を定量・定性分析
し、社内フィードバックに活かす



*各四半期決算後。ミーティング1コマ=1件



本資料の内容には将来に対する見通しが含まれておりますが実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しと大きく異なる結果となりえることがあり、保証を与えるものではございませんのでご了承ください。また、本資料の無断転載はお断りいたします。